ステンレス鋼薄板
欠陥マニュアル

第一部
ステンレス鋼薄板の欠陥とその特徴

創立30周年記念

全国ステンレスコイルセンター工業会
製造技術委員会

発刊に寄せて

1988年11月に、ステンレスコイルセンター業界の向上、発展ならびに会員相互の親睦を図ることを目的に、全国ステンレスコイルセンター工業会（JSCA）が設立されて以来、30年目を迎えるにあたり、設立30周年記念として、二部構成からなる「ステンレス鋼薄板欠陥マニュアル」を製本出版できますことを誠に喜ばしく思います。

ステンレス鋼が実用化されてから100年余りになりますが、ステンレス薄板ではキッチン廻り等の家庭用・業務用機器に加え、建材や電気・ガス・石油機器、更には環境問題を受けて自動車排気系部品に至るまで、その時々の環境変化に対応することで需要分野を広げながら生産量を拡大してきました。最近の10年では需要構造に大きな変化は見られませんが、要求される材料特性はますます高度化、複雑化している一方で、省資源化、省エネ化、リサイクル化が求められており、新たなステンレス鋼の開発が期待されています。このような状況において、特にステンレス薄板は宿命ともいうべき表面品質の欠陥に対し、非常に厳しいにも関わらず、統一化された基準がないことが課題でもありました。

本書は、第一部は1966年発刊のステンレス鋼欠陥マニュアルから薄板部分を抜粋し、最新の情報を補完したものであり、第二部は第一部で述べた欠陥について、その程度をJSCA加盟各社の出荷実績をベースに基準を定めていることから、使用上の有害性の観点においても相応の妥当性をもった基準であろうと考えております。

今後、本書を活用した社員教育などを通じ、これまで各社各様であった検査基準が標準化されること、また今後もブラッシュアップされ実用度が更に向上していくことを期待しています。

設立30周年の節目にあたり、これまでのよき伝統を踏襲しつつ、これからの新しい時代に合った品質管理と、ステンレス業界の更なる発展に向け努めてまいりますので、今後とも皆様のご指導、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成30年12月

全国ステンレスコイルセンター工業会

理事長

水野　正士

発刊を記念して

全国ステンレスコイルセンター工業会(JSCA)設立30年を記念して「ステンレス鋼薄板欠陥マニュアル」が製本・発刊されることになりました。この節目の年に長年の懸案であり　また当工業会として最も重要なテーマの一つでもある「表面品質の標準化」にまで漕ぎ着けることができました。

遡ると、昭和41年にステンレス協会が発行した「ステンレス鋼欠陥マニュアル―外観・形状」を参考にしてJSCAとして必要な項目を今の時代に沿って編集する目的で、7年前に製造技術委員会にてプロジェクトチームを発足させました。

立上げ当初は表面欠陥呼称作業部会と称するワーキンググループを設立して作業を開始し、その主目的は欠陥の呼称統一でした。会員各社のご理解ご協力を得て、数多くのサンプルを持ち寄り、現状の表面欠陥の発生状況を検証把握し纏めましたので、実態に即した内容に仕上っています。

その後、西日本地区製造技術委員会「欠陥検査分科会」に移行し　多大な時間を割いて活動して頂き、欠陥呼称統一に留まらず、表面品質呼称・検査機能向上にも供せる内容に発展させることが出来ました。

これらの経緯により、本書はJSCA会員各社の品質管理の指南書となり得るものと確信致します。

今後ともJCSAの活動にご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

平成30年12月

全国ステンレスコイルセンター工業会

製造技術委員長

日下部　繁

はじめに

本マニュアルは、全国ステンレスコイルセンター工業会（JSCA）の2012年度活動の一環として、
ステンレス鋼薄板のコイルセンターで観察される欠陥について呼称と定義を明確にすることを目的に、
製造技術委員会の各地区代表委員を中心に編成した欠陥呼称作業部会が編集したものである。

編集に当たっては、
ステンレス協会の「ステンレス鋼欠陥マニュアル」1966を参考に、欠陥呼称編集のためのガイドライン
をもとに、欠陥呼称作業部会メンバー各社の欠陥呼称および定義を集約し、マニュアルとした。
尚、2011年に実施した関西地区委員会の欠陥呼称アンケートがこの原形となっている。

本マニュアルは、電子情報としてJSCA会員各社で共有化し、各社で検査員育成等の参考資料として
運用することとするが、将来的には、「JSCA検査員制度」等での活用を目指したい。

マニュアルの不具合等については、都度、JSCA製造技術委員会で受け付け改訂する。

欠陥呼称作業部会概要

□名簿

	氏　名	会社名・役職（2012年活動時）	担　当
部会長	松元　俊彦	㈱サステック　常務執行役員	製造技術副委員長　関西地区幹事
	吉村　知記	阪和工材㈱　顧問	運営委員長
	日下部　繁	東京ステンレス研磨興業㈱　代表取締役社長	製造技術委員長
	荒川　基彦	東京ステンレス研磨興業㈱　技術開発部長	製造技術委員長代理
	都築　聡	阪和工材㈱　足利工場長	製造技術副委員長　関東・北海道地区幹事
	日野　通	東京ステンレス研磨興業㈱　常務取締役工場長	関東・北海道地区委員　研磨疵担当
	井出　俊則	井上金属㈱　工場長	関東・北海道地区委員
	大森　俊樹	伊藤忠丸紅特殊鋼㈱　ステンレスセンター長	関東・北海道地区委員
	大野　恒	MSSステンレスセンター㈱　関東センター工場長	関東・北海道地区委員
	日沼　春義	㈱コイルセンターフジタ　常務取締役工場長	関東・北海道地区委員
	山田　博則	リンタツ㈱　常務取締役	中部地区幹事
	須田　一義	リンタツ㈱　半田ステンレスセンター所長	中部地区幹事
	福田　稔	MSSステンレスセンター㈱　常務執行役員	新潟・北陸地区幹事
	石松　弘一	東京ステンレス研磨興業㈱　福岡工場長次長	中国・九州地区幹事
	中村　宰	秋津鋼材㈱　取締役製造部長	関西地区委員
	小笠原　雅夫	大阪ステンレスセンター㈱　常務取締役製造部長	関西地区委員
	片岡　裕	㈱三榮ステンレスセンター　副工場長	関西地区委員
	北川　澄夫	中川産業㈱　取締役製造部長	関西地区委員
	濱田　謙一	ナス物産㈱　加工事業部　関西加工センター長	関西地区委員
	和泉　康男	阪和工材㈱　吉川工場長	関西地区委員
	大坪　英久	NSステンレスサービスセンター㈱　製造グループ長	関西地区委員
	大岩　眞太郎	全国コイルセンター工業会	事務局長
	渡沼　太	全国コイルセンター工業会	事務局長補佐

ステンレス協会　市場開発委員会

□活動記録

第１回作業部会：2012年5月17日　於TMMビル3F会議室
第２回作業部会：2012年7月10日　於八重洲富士屋ホテル3F会議室
第３回作業部会：2012年10月22日　於TMMビル3F会議室
初版マニュアル発行：2012年11月22日

□引用：ステンレス鋼欠陥マニュアル　1966　ステンレス協会

□改訂履歴

改訂１版　'13.7月：ステンレス欠陥マニュアルの写真を高精細に入替え
　　'13.7月：ステンレス協会　市場開発委員会の協力を得て欠陥写真を追加
改訂2版　'14.12月：欠陥検査基準（案）を追記
改訂3版　'16.4月：模様に関する欠陥検査基準（案）を追記
　　ガイドラインを改訂
改訂4版　'16.12月：欠陥名称と特徴、欠陥基準を分冊化
　　ガイドライン、欠陥基準を改訂
　　①「第一部　ステンレス鋼薄板の欠陥とその特徴」「第二部　ステンレス鋼薄板欠陥基準（案）」の二部（分冊）に分ける。
　　②「第一部　ステンレス鋼薄板の欠陥とその特徴」には、欠陥名称と特徴のみを集約し、欠陥呼称の統合に向けて広く普及することを目的に配布制約を設けない。
　　③「第二部　ステンレス鋼薄板欠陥基準（案）」には、欠陥基準に関する情報を集約し、作成途上として配布先を「JSCA会員限り」とする。
　　④№57小波→エッジ小波に変更
製本化　'18.12月　JSCA30周年事業の一環として改訂4版を製本化・出版

目次

欠陥呼称編集ガイドライン　1

ステンレス鋼薄板欠陥　一覧表　2

１．外観（表面）不具合　3
　１．１．線疵　3
　１．２．点疵　11
　１．３．肌・模様　16
　１．４．折れ　22

２．形状不具合　26
　２．１．切断面不具合　26
　２．３．平たん度不具合　29

３．寸法不具合　32

４．表面（皮）膜不具合　35

５．梱包・荷姿不具合　39

６．研磨不具合　44
　６．１．ベルト研磨不具合　44
　６．２．バフ研磨不具合　46
　６．３．その他研磨不具合　48

索引　49

欠陥呼称編集ガイドライン

欠陥呼称の編集にあたり欠陥呼称の表現方法についてのガイドラインを示す。

1. 表現方法

□欠陥呼称は、原則として外観上の状態を表すものとする。
但し、使用が常態化した外来語や常用表現を除く。

□欠陥について、「ステンレス鋼薄板欠陥マニュアル」の分類は、欠陥の発生原因にまで及ぶ分類となっているが、コイルセンターの検査段階において、その発生原因は特定できないことから、欠陥の正確な判定には限界がある。
欠陥の分類は、欠陥の形態判定に即したものとする。

2. 代表する言葉の統一

表1　代表的な欠陥の標準呼称

標準呼称	非標準呼称	定義	一般的な意味
疵／キズ	きず、傷、瑕	表面の凹凸を伴う欠陥	物の表面の裂け目や、欠けたりした部分
マーク／跡／アト	mark、あと、痕	ロールや刃物で（連続して）しるしをつけた欠陥	しるし、しるしをつけること 何かが通っていったしるし
模様／モヨウ	もよう	表面の凹凸を伴わない面状の欠陥、色に濃淡がある場合には斑という	ものの表面にあらわれた図形
折れ／オレ	おれ	折れ欠陥（表裏面対応）	折れた物や部分
割れ	われ	表層が割れ表層と異なる内部が現れた欠陥	割れること また、割れたものや、その破片
不良		質・状態などがよくないこと　また、そのさ	同左
欠陥		欠けて足りないこと　不備な点	同左
変形		形や状態が変わること	同左
違い		違うこと。異なること	同左
汚れ		拭き取りで除去できるもの	
シミ		拭き取りで除去できないもの	
のび／ノビ	延び、伸び	圧延やレベラー加工により幅方向が不均一にのばされ、耳部や中央部が波打っている状態	
反り／ソリ		板が反った状態	
穴／アナ	孔	厚さをつきぬけた欠陥	

□「漢字」または「カタナカ」による表記を基本とする。
本来の意味を明確にするために漢字の使用を基本とするが、欠陥の表記手法の制約等を勘案し「カタカナ」による表記も可能とする。

□規格等で定められた欠陥呼称は規格の表現を優先する。（キャンバー→横曲がり（JISG0203））
→中のびなどは「ひらがな」を基本とする。（JISG0203）

表2　欠陥の形状を表す言葉

標準呼称	非標準呼称	定義	一般的な意味
点／テン	てん	長径≦20mmかつ縦横比≦10を目安とし、これを超えるものは模様という	ペンの先などで軽く突いて記したような小さなしるし　また、そのように見えるもの
斑点／ハンテン	はんてん、豹柄	点状の欠陥がまばらに散らばった状態	表面にまばらに散らばった点
線／セン	せん	幅≦5mmの連続した欠陥の状態	1 糸のように細長く連続するもの
帯／オビ	おび	幅＞5mmの連続した欠陥の状態	
筋／スジ	すじ、簾、すだれ、縞、しま	複数の線または帯よりなる欠陥の状態	
斑／ムラ	むら、まだら	違った色が所々にまじっていたり、色に濃淡があったりする欠陥	違った色が所々にまじっていたり、色に濃淡があったりすること　また、そのものや、そのさま
液垂れ／エキダレ	えきだれ、水濡れ（みずぬれ）	液体が垂れた際に生じる形状をいう	
五月雨／さみだれ	さみだれ	紡錘状の欠陥が密集して発生している状態	
格子／コウシ	こうし、縞、しま	縦方向と横方向に筋が交差した状態	

3. 言葉の配列

□欠陥の原因や工程および形状については、下記の順に欠陥呼称の冠に付すこととする。

レベラー	ロール	点（状）	押し疵
工程	原因	形状（表2）	欠陥呼称（表1）

4. 欠陥の程度及び検査基準

□第二部　ステンレス鋼薄板欠陥基準　参照

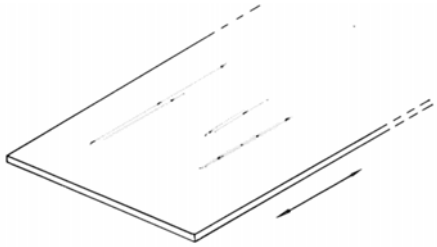
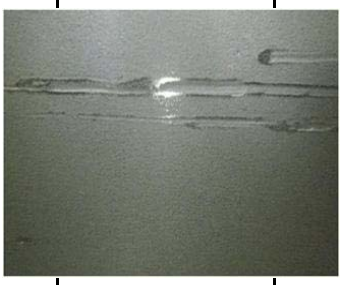
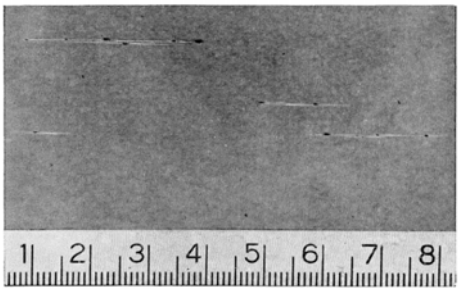
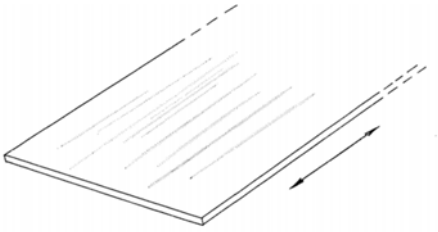
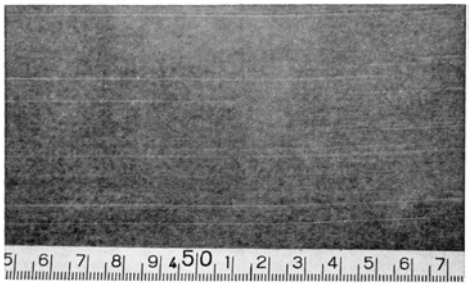
ステンレス鋼薄板欠陥　一覧表

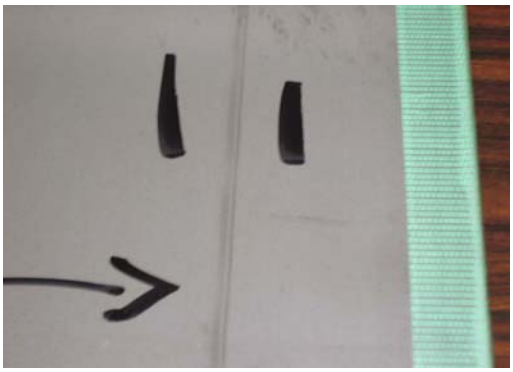
区分		No.	欠陥名(標準) 大分類	欠陥名(標準) 中分類	備考
外観不具合	線状	1	カキ疵		スリ疵基準
		2	スリ疵		
		3	スリ疵	(シャー裏面)スリ疵	
		4	スリ疵	パッド(スリ)疵	
		5	スリ疵	集積(スリ)疵	
		6	カッターマーク		折れ基準
		(7)	ロールマーク		帯状模様基準
		(8)	ロールマーク	ロール汚れ	
		9	(ロール)停止マーク		折れ基準
		10	(ロール)スリップ疵		
		(11)	レベラーマーク		帯状模様基準
		12	共ズレ疵		
		13	山ヘゲ		ヘゲ疵基準
		14	線ヘゲ		
		15	(エッジ)シーム疵		(素材疵)
		16	ブローホール		(素材疵)
		17	レンガ疵		(素材疵)
		18	二枚割れ		(素材疵)
		19	表面割れ		(素材疵)
		20	表面割れ	縦割れ	(素材疵)
		21	表面割れ	横割れ	(素材疵)
		22	耳割れ		(素材疵)
	点状	23	打ち疵		点疵基準
		24	打ち疵	エッジ打ち疵	
		25	押し疵		点疵基準
		26	押し疵	ロール(押し)疵	
		27	押し疵	糸屑押込み	
		28	押し疵	虫押込み	
		29	押し疵	シャーリング押え痕	
		30	押し疵	転写疵	
		31	ロール凸疵		点疵基準
		32	汚れ	虫汚れ	(肌)
		33	ピンホール		(素材疵)
		34	穴		(素材疵)
		35	チャック跡		(素材疵)
	肌・模様	7	帯状模様	ロールマーク	帯状模様基準
		8		ロール汚れ	
		11		レベラーマーク	
		127		液垂れ模様	
		128		五月雨模様	
		129	斑点模様	酸斑点	斑点模様基準
		130		BA斑点	
		36	アブレーション		
		37	異物付着		
		38	汚れ		
		(32)	汚れ	虫汚れ	(点)
		39	チャタマーク		
		40	銹(さび)		
		41	肌アレ		
		42	肌アレ	スケール残(ざん)	(素材疵)
		43	肌アレ	酸洗肌アレ	(素材疵)
		44	肌アレ	酸ムラ	(素材疵)
		45	スケール疵		(素材疵)
		46	ヘリングボーン		(素材疵)
		47	リビング		(素材疵)
		48	ストリンガ		(素材疵)
		49	ストレッチャストレイン		(素材疵)
		50	研磨目残り		(素材疵)
		51	光沢不良		(素材疵)
		52	テンパーカラー		(素材疵)
	折れ	53	折れ	紙折れ	折れ基準
		54	折れ	三日月折れ	
		55	折れ	耳折れ	
		56	折れ	サイドガイド折れ	
		57	エッジ小波		
		58	コイルブレーク		
		59	コイル潰れ		
		60	折れこみ		
		61	絞り		
		62	リールマーク		
		63	波		

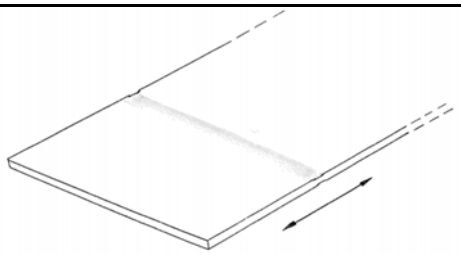
区分		No.	欠陥名(標準) 大分類	欠陥名(標準) 中分類	備考
形状不具合	切断面不良	64	カエリ(burr)不良		
		65	切断面不良	カエリ方向違い	
		66	切断面不良	ダレ	
		67	切断面不良	刃欠け	
		68	切断面不良	耳切れ	
		69	切断面不良	ビビリ	
		70	切断面不良	セパスリ	
		71	シャー刃欠け		
	平たん度不良	72	平たん度不良		
		73	平たん度不良	耳のび	
		74	平たん度不良	中のび	
		75	反り		
		76	反り	L反り(上反り)	
		77	反り	L反り(下反り)	
		78	反り	巻グセ	
		79	反り	C反り	
寸法不良		80	幅寸法不良		
		81	長さ寸法不良		
		82	対角線差不良		
		83	対辺線差不良		
		84	Vカット		
		85	横曲がり		
		86	LC違い		
保護皮膜不良		87	保護(皮)膜シワ		
		88	保護(皮)膜剥離		
		89	保護(皮)膜はみ出し		
		90	保護(皮)膜未貼付		
		91	保護(皮)膜隙間過多		
		92	保護(皮)膜規格違い		
		93	フィッシュアイ		
		94	保護(皮)膜継目		
		95	保護(皮)膜汚れ		
		96	保護(皮)膜糊残り		
		97	保護(皮)膜固着		
梱包・荷姿不良		98	間合紙不良		
		99	間紙欠落		
		100	巻きずれ(JISG4304,4305)		
		101	巻きずれ	テレスコープ	
		102	ビルドアップ		
		(59)	コイル潰れ		(折れ)
		103	梱包仕様間違い		
		104	梱包不良		
		105	荷崩れ		
		106	積載不良		
		107	(コイル)重量違い		
		108	(シート)員数違い		
		109	基準面違い		
		110	仕上げ違い		
		111	異材		
研磨疵	ベルト研磨疵	112	ベルトマーク		
		113	研磨ビビリ		
		114	オッシレート跡		
		115	研磨チャタマーク		
		116	ベルトグラインダ停止マーク		
		117	研磨スクラッチ		
		118	ト粒カミ込み		
		119	研磨ムラ		
	パフ研磨疵	120	粗目残り		
		121	研磨材塗布跡		
		122	研磨焼け		
		123	メダカ		
		124	スノー		
	他	125	研磨歪		
		126	未研磨		

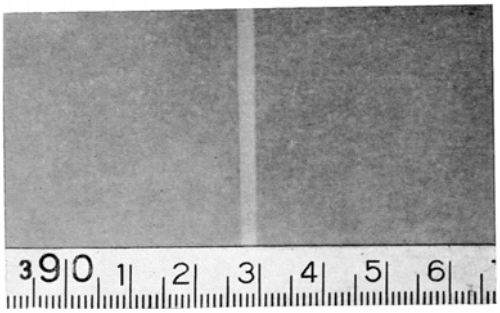
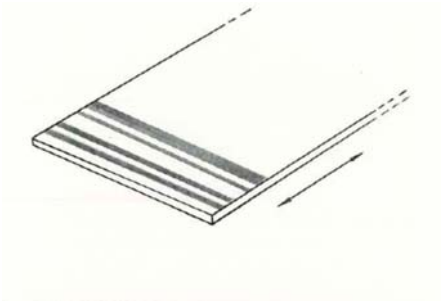
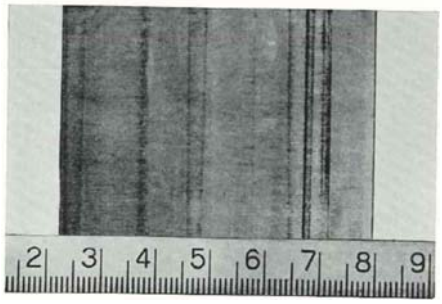
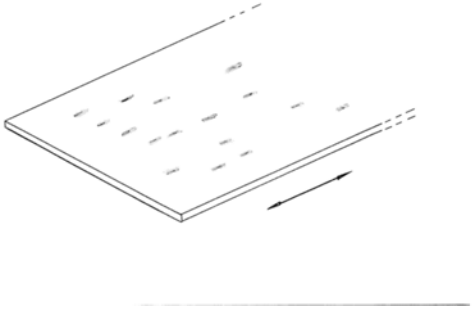
1．外観(表面)不具合

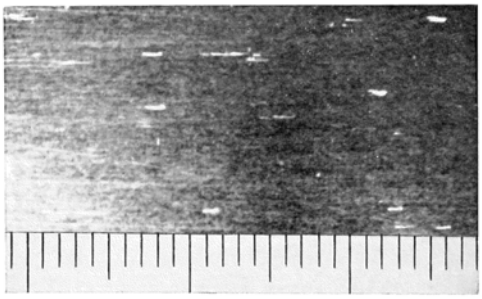
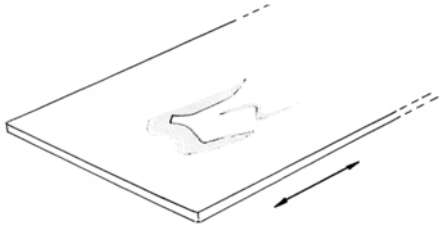
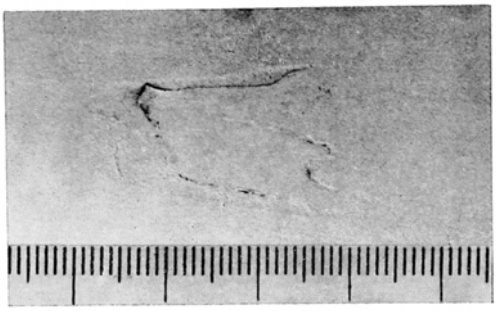
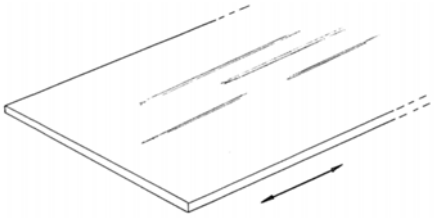
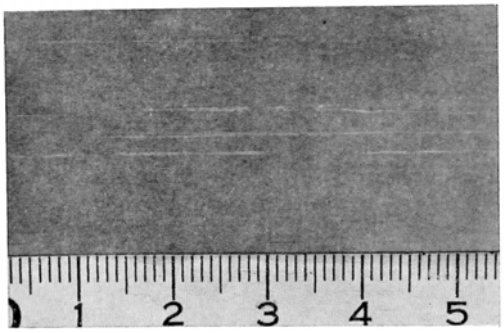
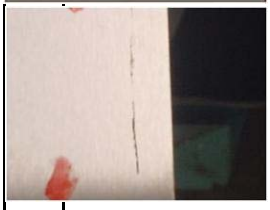
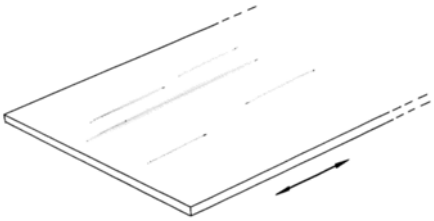
1．1．線状

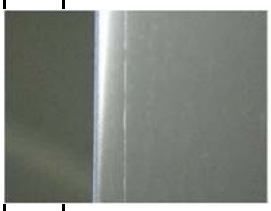
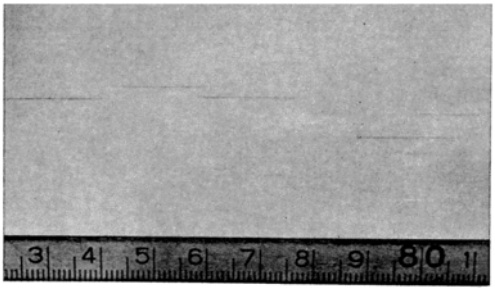
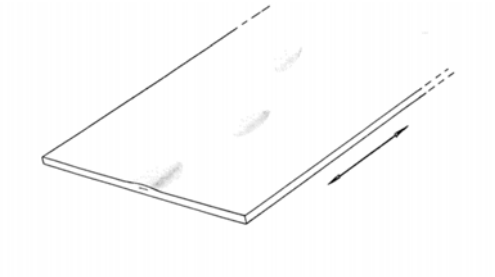
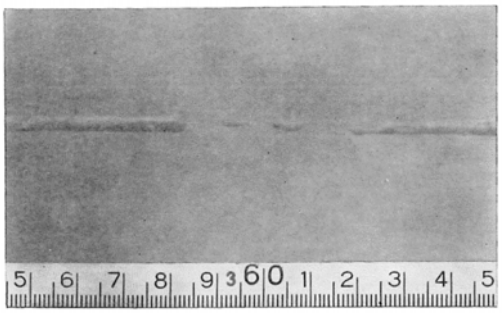
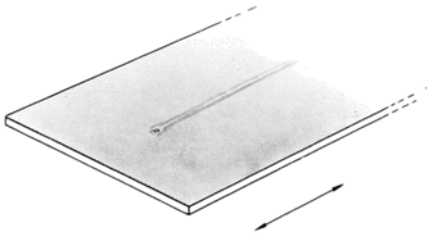
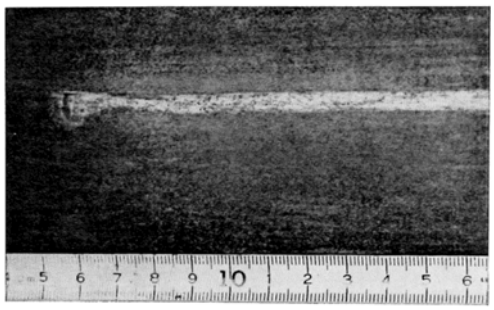
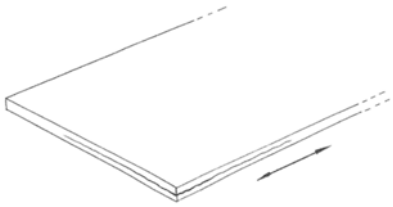
1	カキ疵	定義	疵の終端にカキ玉を伴うひっかき疵で、ライン通板中の異物または製品同士の接触によるひっかきに起因する。	
		状態	表面に生じたひっかき疵で、疵の終端にカキ玉を伴う。 カキ玉が取れて無い場合もある。	
		原因	①工程中または取り扱い中の金属片などの異物との接触によるひっかき、又は製品同士によるひっかき。	
		備考	(1)scrach、heavy scrach、gouge (2)カキヘゲ、共ズレ疵、ツッカキ (3)カキ玉を伴わないものはスリ疵という。カキ玉が取れて無い場合もある。 カキ疵／スリ疵の区分として、カキ玉の有無による区分のほかに、深さ・大きさの大きいものをカキ疵といい、それ以外をスリ疵という区分や、疵の方向により、圧延方向に平行な疵をカキ疵といい、圧延方向にに平行でない疵をスリ疵と区分することもある。	
2	スリ疵	定義	表面がすられた疵で、疵の終端にカキ玉を伴わないもの。 工程中または取り扱い中の異物との接触によるひっかき、又は製品同士によるひっかきにより発生する。	
		状態	表面がすられた疵で、疵の終端にカキ玉を伴わないもの	
		原因	①工程中または取り扱い中の異物との接触によるひっかき、又は製品同士によるひっかき。	
		備考	(1)light scrach、graze (2)線疵、ハッド疵、シャー(裏面)スリ疵 (3)カキ玉を伴うものはカキ疵という。 カキ疵／スリ疵の区分として、カキ玉の有無による区分のほかに、深さ・大きさの大きいものをカキ疵といい、それ以外をスリ疵という区分や、疵の方向により、圧延方向に平行な疵をカキ疵といい、圧延方向にに平行でない疵をスリ疵と区分することもある	

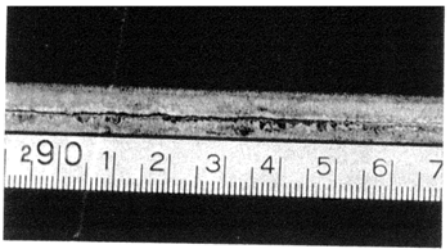
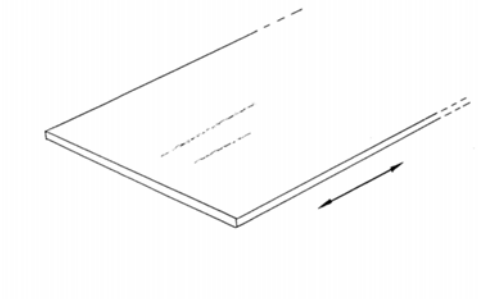
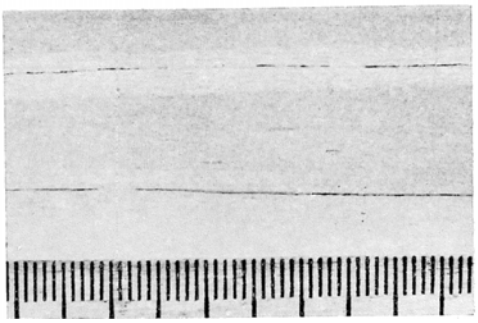
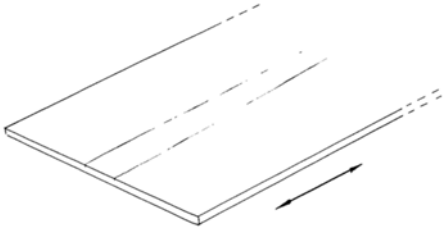
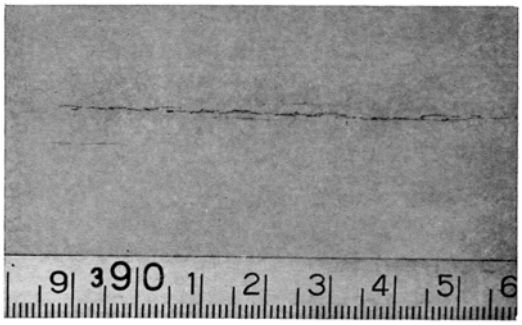
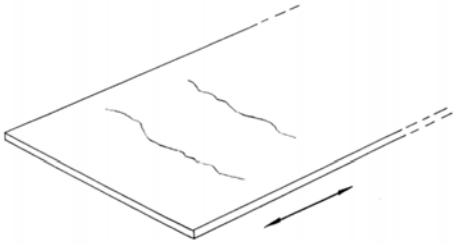
3	スリ疵	(シャー裏面)スリ疵	定義	シャー加工時に機械のテーブル又は下刃と被加工材との接触により生ずるスリ疵。シャー裏面に放射線状または直線状に発生することが多い。	
			状態	表面がすられた疵で、疵の終端にカキ玉を伴わないもの。 シャー裏面に放射線状に発生することが多い。	
			原因	①シャーリング機テーブル面の突起と被加工材裏面の接触によるスリ疵	
			備考	(1)light scrach (2)シャー(裏面)スリ疵 (3)カキ玉を伴うものはカキ疵という。	
4	スリ疵	パッド(スリ)疵	定義	スリット加工時等、ライン内のパッドへの異物巻き込みに起因して、被加工材の表面に加工方向と同一方向に連続して発生するスリ疵。	
			状態	表面に加工方向に平行に連続して発生するスリ疵。	
			原因	①パッドへの異物巻き込みに起因	
			備考	(1)light scrach (2)線疵、ハッド疵 (3)カキ玉を伴うものはカキ疵という。	
5	スリ疵	集積(スリ)疵	定義	パイラー集積時または手取り時に、板同士が接触して発生する線状の欠陥。	
			状態	パイラー集積時または手取り時に、板同士が接触して発生する線状の欠陥	
			原因	①集積(パイリング及び手取り)時の板間の接触 ②パイラーSET不良 ③板の形状不良	
			備考	(2)集積疵、パイラー疵、ハンドリング疵、スリ疵	
6	カッターマーク		定義	切断刃幅に一致する圧延方向と平行な連続した線状疵。 切断刃幅が板に転写された欠陥。	

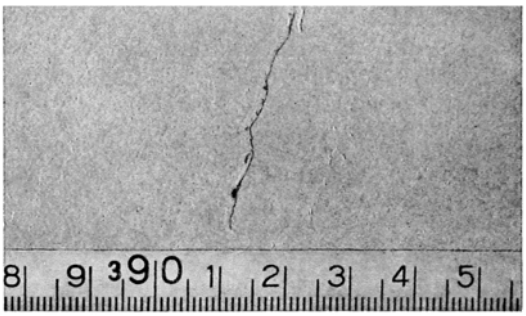
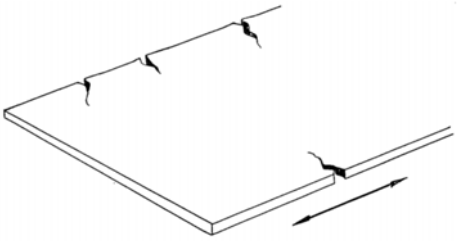
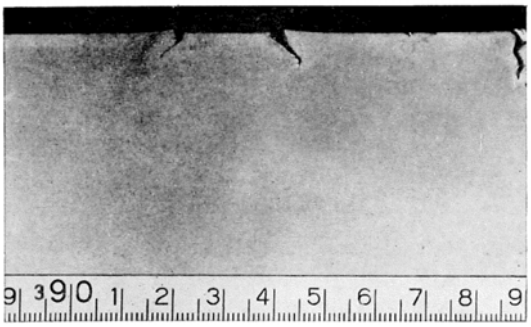
		状態	切断刃幅に一致する圧延方向と平行な連続した線状疵。 途切れ断続的に発生する場合もある。	
		原因	①スリッターまたはトリマーのラップ設定の不適合 ②ゴムリング径の不適合	
		備考	(2)カッター疵、刃跡(マーク)、刃疵、刃折れ (3)マークが表裏面一致しており折れ状になっている場合は「刃折れ」という。	
7	ロールマーク	定義	圧延方向と平行な連続疵の内、ロール欠陥の転写による欠陥。	
		状態	ロール欠陥の転写により生じた圧延方向と平行な連続疵。 表面の凹凸を伴わない模様状の欠陥が多い。	
		原因	①レベラーロール欠陥の転写 ②圧延ロール欠陥の転写	
		備考	(3)ロール疵、ロール模様	
8	ロールマーク ロール汚れ	定義	レベラーロールの汚れが被加工材に転写される加工方向と平行な帯状の汚れ	
		状態	加工方向と平行な帯状の汚れ。 複数の帯状汚れが発生することが多く、トラマークとも呼ぶ。	
		原因	①レベラーロール(ワーク、バックアップ)の汚れが板に転写	
		備考	(3)トラマーク、ロール模様、ロールハチマキ	
9	(ロール)停止マーク (素材疵)	定義	圧延方向に直角にワークロールの跡がついてたもので、一般に凹んだ間隔のあるもの	
		状態	圧延方向に直角にワークロールの跡がついてたもので、一般に凹んだ間隔のあるもの	

		原因	①圧延中のロール回転停止	
		備考	(1)roll stop (2)ロールストップ、タッチマーク、圧下疵、ロール止め (3)冷板、冷帯のみ	
10	(ロール)スリップ疵	定義	圧延方向と平行な疵が密集して帯状に発生した疵。 ロールやベルトブライドルの回転不良により発生する。	
		状態	圧延方向と平行な疵が密集して帯状に発生した疵。 疵の発生がなく全幅にロールの跡が凹みとしてのこるものもある。	
		原因	①駆動ロールの同調不良(ブレーキの不適合など)などロール類のスリップにより発生 ②ベルトブライドルの回転不良 ③加工中のロール停止	
		備考	(2)ロールスリップ、ベルトブライドルロールスリップ (3)圧延中の停止で板厚の局部的な変化を伴うものは「(ロール)停止マーク」という。 加工中のロール停止で折れを伴うものは「ロースストップ」ということがある。	
11	レベラーマーク	定義	レベラーロールの噛み止めにより発生する複数の折れ状欠陥。	
		状態	レベラにより板全体または部分的に圧延方向と直角に発生した折れ状欠陥	
		原因	①レベラーの噛み止めによるロール痕	
		備考	(1)leveller mark (2)レベラーストップ、ロールストップ、レベラー折れ、レベラキズ	
12	共ズレ疵	定義	鋼帯の巻き締まりや巻き緩みにによる鋼帯間の接触で発生する欠陥。 一般に、鋼帯の先後端部の表裏に密集して発生する。 鋼板間の接触で発生するものもある。	
		状態	鋼帯の巻き締まりによる鋼帯間の接触で発生する欠陥。 一般に、鋼帯の先後端部の表裏に密集して発生する。 鋼板間の接触で発生するものもある。	

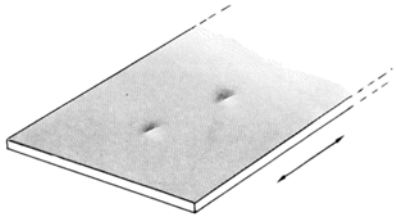
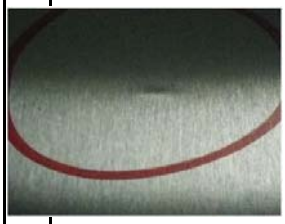
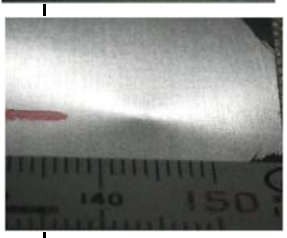
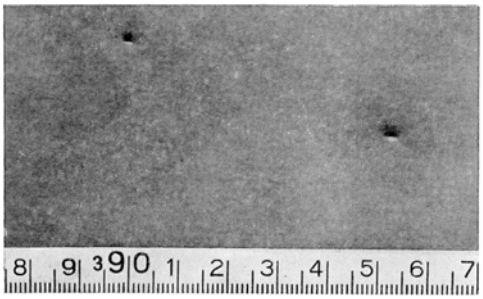
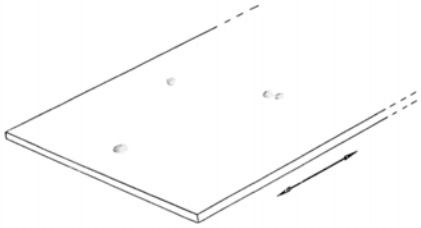
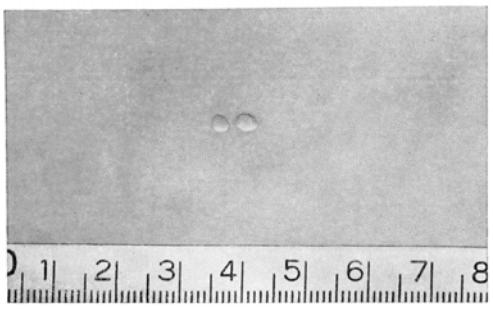
		原因	①鋼帯の巻き締まりや巻き緩みによる帯間の接触疵　②間紙や保護テープが無い場合に鋼板間の接触により発生	
		備考	(1)lap graze (2)スリップ疵、ホゴシ疵、共ズリ、巻き締め疵、スレ疵、層間スリップ疵　カキ疵、スリップ疵、ガウジ疵、共ズレ	
13	山ヘゲ （素材疵）	定義	介在物やスケール等の異物巻き込み跡が山形に剥げた層状の欠陥	
		状態	表面が山形状にはげかけたラップ状の疵	
		原因	①材料の過熱（熱板、熱帯のみ）　②材料表面欠陥の残存　③材料の圧延中の温度低下（熱板、熱帯のみ）　④ブローホール、スキンホール、非金属介在物存在部分の破れ　⑤各成分値間のバランス不良　⑥工程中に発生したカキ疵、スリ疵などの再圧延（冷板、冷帯のみ）	
		備考	(1)sliver、scab、lap、heavy sliver (2)ハガレ、ヘゲ、山形ヘゲ、ヘゲ疵、ハゲ疵、スリバ	
14	線ヘゲ （素材疵）	定義	表面が線状にはげかけたラップ状の疵	
		状態	表面が線状にはげかけたラップ状の疵	
		原因	①材料の過熱（熱板、熱帯のみ）　②材料表面欠陥の残存　③材料の圧延中の温度低下（熱板、熱帯のみ）　④ブローホール、スキンホール、非金属介在物存在部分の破れ　⑤粗ロールの肌荒れ	
		備考	(1)seam、skin　lamination、light　sliver (2)糸ハガレ、線状ハガレ	
15	（エッジ） シーム疵 （素材疵）	定義	圧延方向にほぼ平行な黒色または白色のきずで表面に点在し、はがれを伴わないもの	
		状態	圧延方向にほぼ平行な黒色または白色のきずで表面に点在し、はがれを伴わないもの。 エッジ部のスラブ角部に相当する欠陥をエッジシーム疵という。	

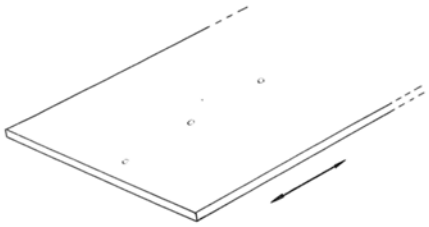
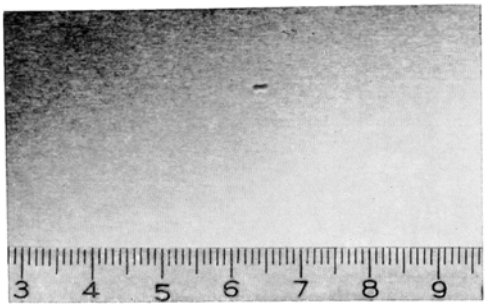
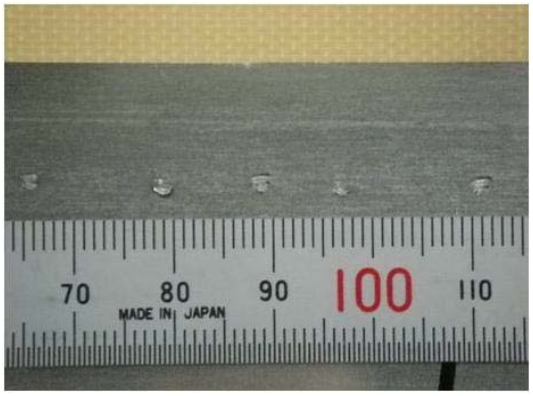
		原因	①表面に現れた非金属介在物　②各成分値間のバランス不良　③スラブの角部に相当する欠陥	
		備考	(1)hair seam (2)線キズ、線状キズ、線状地キズ、スジキズ、縦線キズ、スジハガレ、ブラックライン、縦線地キズ	
16	ブローホール （素材疵）	定義	表面のふくれ、多くの場合空洞になったもの	
		状態	表面のふくれ、多くの場合空洞になったもの	
		原因	①ブローホール、パイプの圧着不十分　②非金属介在物の多量含有　③酸洗中の水素ガス吸収	
		備考	(1)blister、swelling (2)ブローホール、ブローホール疵、ブリスタ　、フクレ	
17	レンガ疵 （素材疵）	定義	耐火物などが内部または表面に存在したもの	
		状態	耐火物などが内部または表面に存在したもの	
		原因	①造塊時の砂かみ、耐火物、スラグなどの巻き込み　②加熱中に付着した耐火物のかみ込み	
		備考	(1)refractory inclusion、brick inclusion (2)熱板、熱帯のみ	
18	二枚割れ （素材疵）	定義	断面が割れ、二枚板または層状となったもの	
		状態	断面が割れ、二枚板または層状となったもの	

			原因	①ブローホール、パイプの圧着不十分 ②鋼塊のキャビティの切捨て不十分 ③酸化物、スラグの存在 ④せん断時のクリアランス不良	
			備考	(1)lamination、pipe lamineaton、pipe (2)二枚板、パイプ、パイプ割れ、層状割れ	
19	表面割れ (素材疵)		定義	表面に現れたわれ	
			状態	表面に現れたわれ	
			原因	①材料のわれの残存	
			備考	(1)surface crack (3)冷延厚板に出ることが多い	
20	表面割れ (素材疵)	縦割れ	定義	圧延方向に平行なワレ	
			状態	圧延方向に平行なワレ	
			原因	①材料の過熱 ②冷却速度の不適正による熱応力のわれ ③材料のわれの残存	
			備考	(1)longitudial crack	
21	表面割れ (素材疵)	横割れ	定義	圧延方向に直角なわれ	
			状態	圧延方向に直角なわれ	

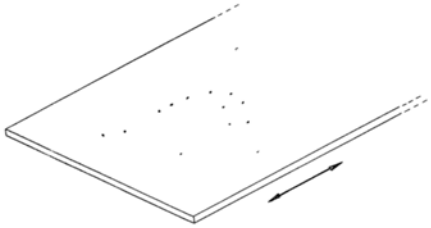
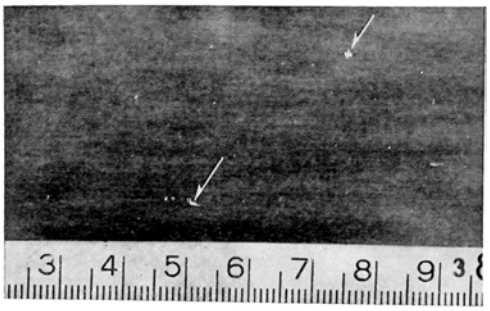
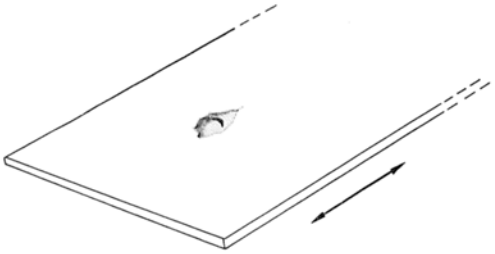
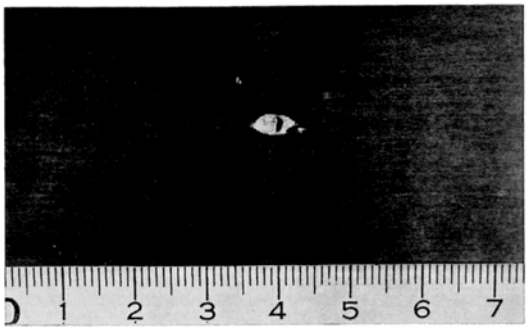
		原因	①材料の過熱、圧延中の温度低下 ②冷却速度の不適正による熱応力のわれ ③材料のわれの残存	
		備考	(1)transverse crack	
22	耳割れ （素材疵）	定義	耳部にひびまたはわれ目の入ったもの	
		状態	耳部にひびまたはわれ目の入ったもの	
		原因	①材料の過熱（熱板、熱帯のみ） ②材料の耳部の欠陥の残存 ③各成分値間のバランス不測 ④材料の圧延中の温度低下、圧下率不適正（熱板、熱帯のみ） ⑤トリミング不良 ⑥圧下率の不適正（冷板、冷帯のみ） ⑦熱処理の不適正	
		備考	(1)cracked edge、torn edge、ragged edge、damaged edge (2)切れ込み、エッジシームス、耳キズ、耳切れ (3)程度の軽いものを耳アレということがある	

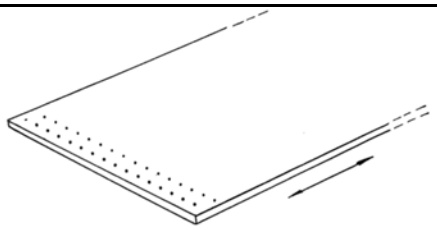
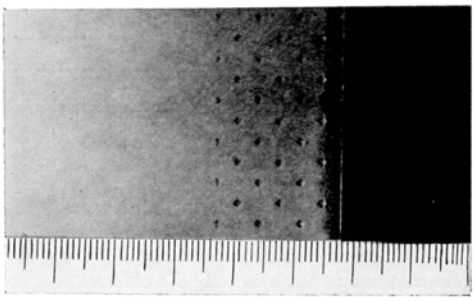
1．2．点状

23	打ち疵		定義	外部からの打撃による疵	
			状態	外部からの打撃による疵。 突いた面より反対面に突き出た疵。	
			原因	①取り扱い不良による打撃または押し付け ②コイル製品外部からの衝撃疵 ③レベラー集積時の異物巻き込み	
			備考	(1)ding、dint、dent (2)打痕、当て疵	
24	打ち疵	エッジ打ち疵	定義	外部からの打撃による疵	
			状態	外部からの打撃による疵。 突いた面より反対面に突き出た疵。	
			原因	①取り扱い不良による打撃または押し付け ②クレーンフックの接触 ③運搬時の障害物への接触	
			備考	(1)ding、dint、dent (2)打痕、当て疵	
25	押し疵		定義	異物やロール等に起因する点状の凹み疵。	
			状態	異物やロール等に起因する点状の凹み疵。 一般的には疵面の反対面には出ていないことが多い。	
			原因	①異物を押込んだ凹み疵	
			備考	(2)押込み、ロール(押し)疵、レベラーロール(押し)疵、ロールマーク、糸屑押込み、虫押込み	

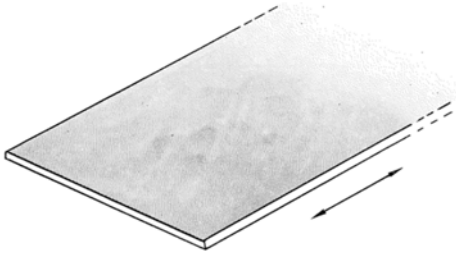
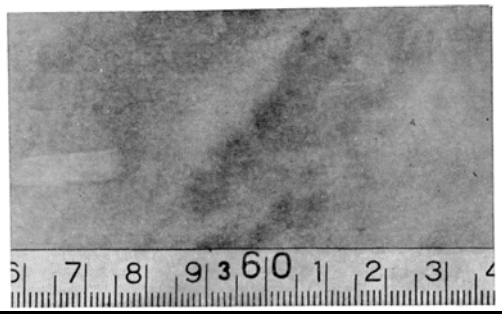
26	押し疵	ロール（押し）疵	定義	ロールに起因するロール外径ピッチの凹み疵	
			状態	ロール外径ピッチで連続的に発生する点状の凹疵	
			原因	①レベラーロール等のロールに巻き込んだ異物の転写による凹み疵。	
			備考	(2)ロール押込み、ロールマーク、○○ロール（押し）疵	
27	押し疵	糸屑押込み	定義	フェルト屑など糸屑をレベラーロール等で圧着した疵	
			状態	糸屑を押込んだ凹み疵。 ロール径ピッチで糸屑状の凹みが発生。	
			原因	①フェルト屑などの糸屑のロール巻き込み	
			備考	(2)押し疵、押込み	
28	押し疵	虫押込み	定義	虫をロール等で圧着した凹み疵。 凹み痕のないものは虫汚れという。	
			状態	虫を押込んだ凹み疵	
			原因	①虫のロール巻き込み ②リコイラー巻き取り時の虫の飛び込み	
			備考	(2)押し疵、押込み、虫、虫飛び込み	

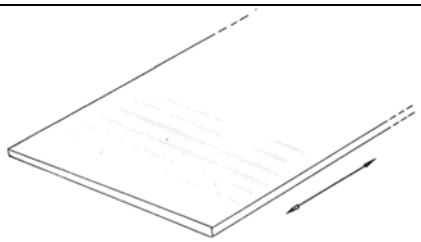
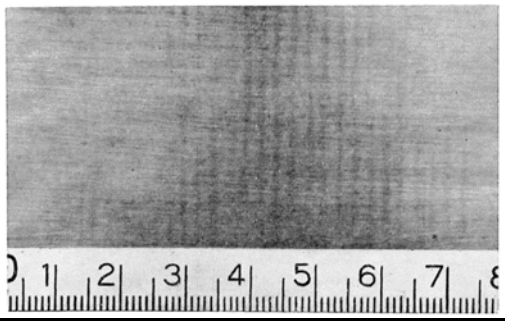
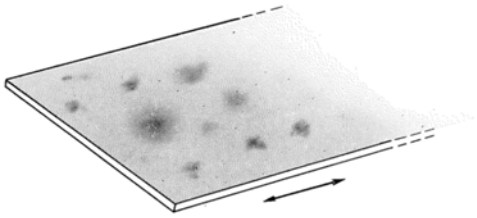
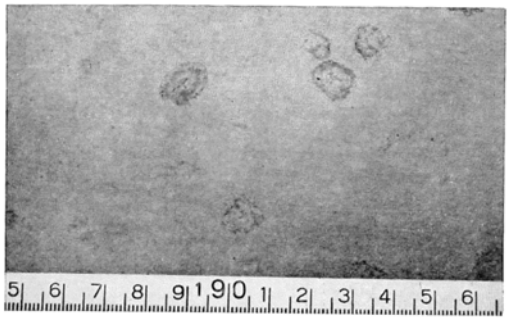
29	押し疵	シャーリング押え痕	定義	シャーリング板押さえの痕疵。 板押さえ下に異物が付着する事で発生。	
			状態	シャーリング板押さえの痕疵	
			原因	①シャーリング板押さえの痕疵。 板押さえ下に異物が付着する事で発生。	
			備考	(2)押し疵、板押え跡、打痕、打ち疵	
30	押し疵	転写疵	定義	シート積載時の疵で裏面疵が積載時に表面へ転写した押し疵	
			状態	シート積載時の疵で裏面疵が積載時に表面へ転写する押し疵	
			原因	①シート積載時の疵の転写	
			備考		
31	ロール凸疵 （素材疵）		定義	ピッチのある連続した凸疵で、ロールの凹み疵が転写されたもの	
			状態	ピッチのある連続した凸疵で、ロールの凹み疵が転写されたもの	
			原因	①調質圧延ロールの凹み疵の転写による凸疵	
			備考	(2)ロール疵、ロールマーク	

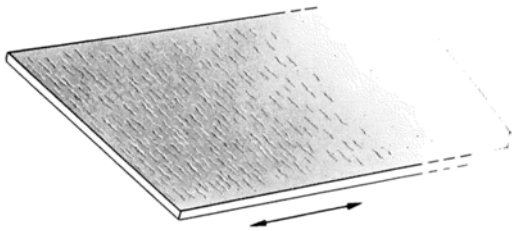
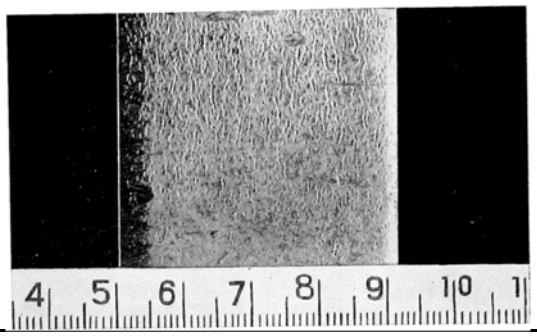
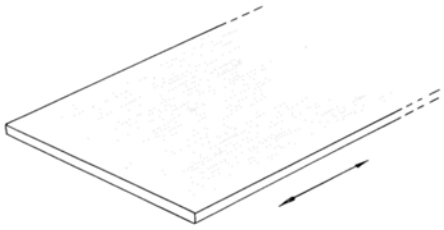
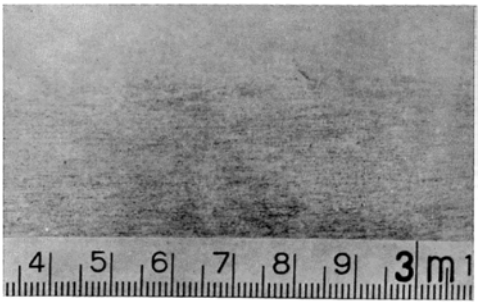
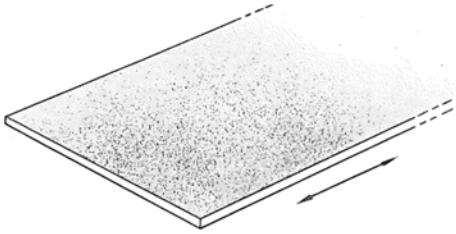
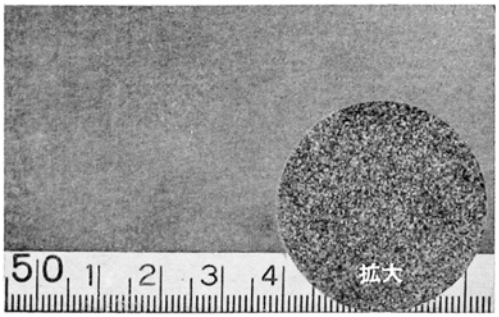
32	汚れ	虫汚れ	定義	虫の飛込みによる圧着痕等。 研磨や拭取りにより疵の残らないものをいう。	
			状態	凹みを伴わず、拭取りにより疵の残らない汚れや圧着痕	
			原因	①虫のロール巻き込み ②リコイラー巻き取り時の虫の飛び込み	
			備考	(2)虫汚れ、虫圧着、虫付着	
33	ピンホール （素材疵）		定義	表面の微細なあな	
			状態	表面に針で突いたような微細なあなが発生している	
			原因	①非金属介在物、押込まれた異物などの脱落 ②酸洗による粒界侵食溝等の微細な欠陥の顕在化 ③不適切な保管等による腐食	
			備考	(1)pit、pitting、pinhole (2)ピット、ピッティング	
34	穴 （素材疵）		定義	表裏に貫通したあな	
			状態	表裏に貫通したあな	
			原因	①異物の飛び込み、押し疵の拡大 ②局部的な薄肉または欠陥の圧延による破れ ③材料のあなの残存（冷板、冷帯のみ）	
			備考	(1)hole (2)アナキズ、アナアキ、窓	

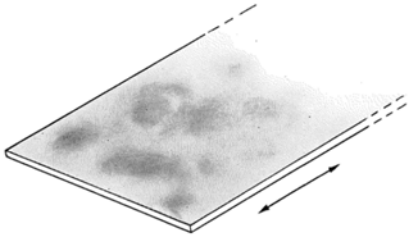
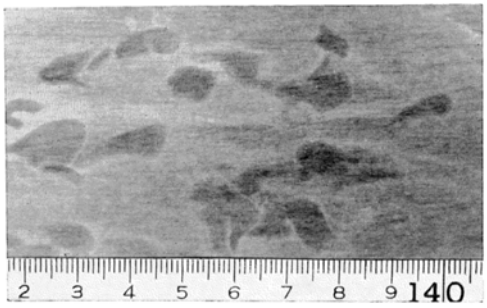
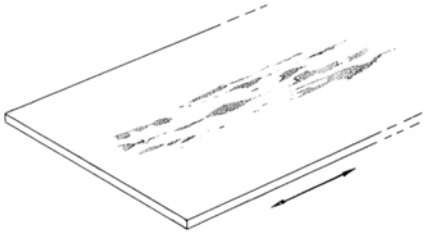
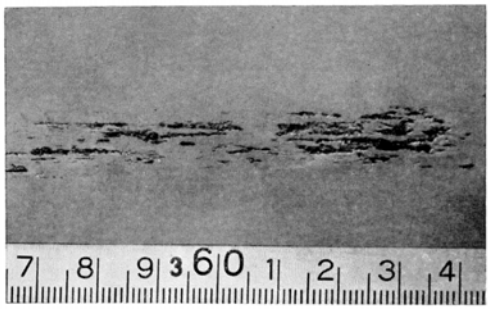
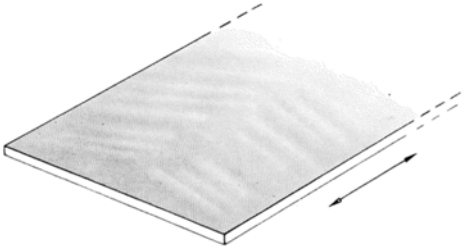
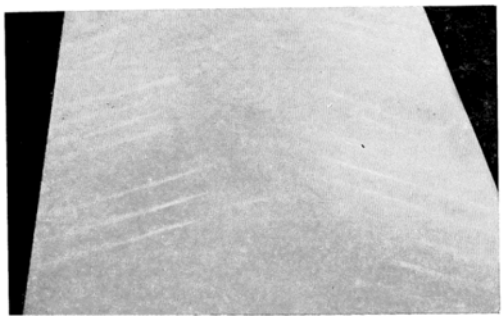
35	チャック 跡 （素材疵）	定義	板端にストレッチャなどのつかみ跡が残ったもの	
		状態	板端にストレッチャなどのつかみ跡が残ったもの	
		原因	①チャック位置不良　②切断の不適正	
		備考	(1)chuck mark、grip mark　(2)ストレッチャ跡　(3)熱板、冷板のみ	

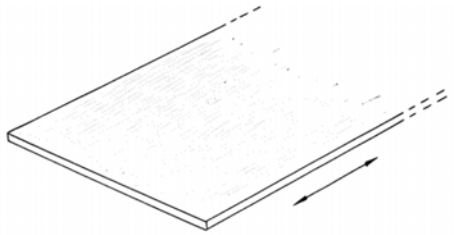
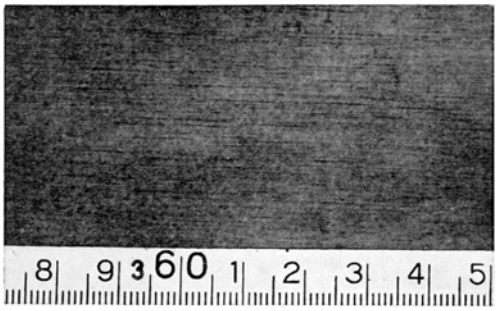
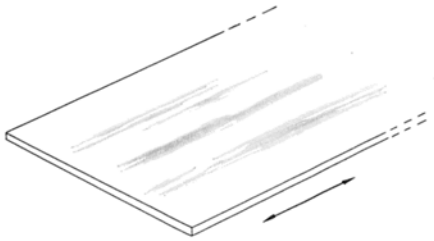
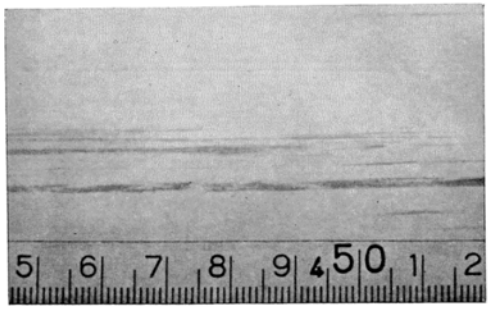
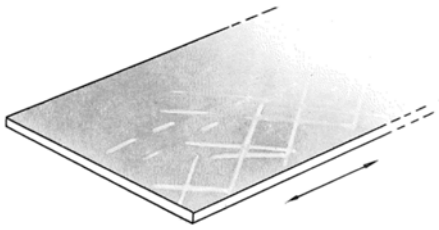
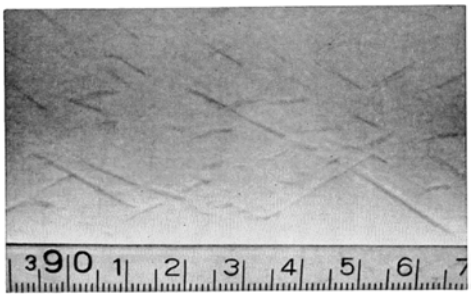
１．３．肌・模様

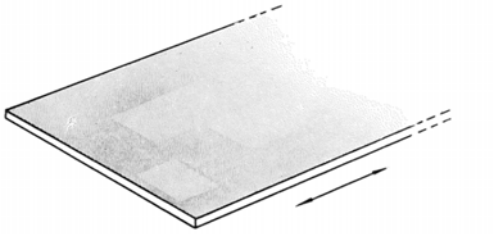
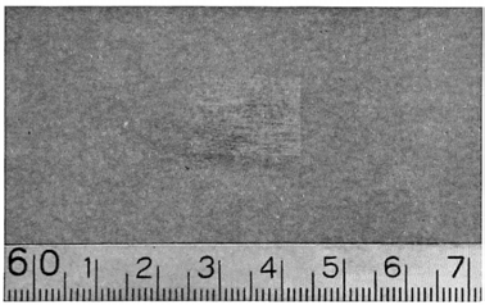
36	アブレーション	定義	塗装ステンレスの層間スリップに起因する表面欠陥	
		状態		
		原因		
		備考		
37	異物付着	定義	間紙やフェルト屑などの固形の異物が付着した欠陥。	
		状態	間紙やフェルト屑などの異物が付着した欠陥	
		原因	①間紙の圧着痕　②粘着テープの残り	
		備考	(2)ゴミ付き、紙粉圧着、紙圧着、〇〇圧着	
38	汚れ	定義	洗浄液など液体の付着痕（含む指紋・手形・手袋など）。 拭取りにより付着痕が除去できるものをいう。	
		状態	油、水滴、シミ等が付着したものの総称。 拭取りにより付着痕が除去できるものを汚れと称する。	
		原因	①洗浄液など液体の付着痕　②指紋、手形転写　③手袋の汚れ転写	
		備考	(1)stain　(2)シミ、変色、色ムラ　(3)酸ムラなどで表面を拭取っても変化のないものは対象外とする。 汚れ（白色）、汚れ（茶色）などの分別管理要求もある。	

32	汚れ （点疵）	虫汚れ	定義	虫の飛込みによる圧着痕等。 研磨や拭取りにより疵の残らないものをいう。	
			状態	凹みを伴わず、拭取りにより疵の残らない汚れや圧着痕	
			原因	①虫のロール巻き込み ②リコイラー巻き取り時の虫の飛び込み	
			備考	(2)虫汚れ、虫圧着、虫付着	
39	チャタマーク		定義	細かい周期で発生する圧延方向と直角な折れ、模様。 レベラー条件不適合等で発生する。	
			状態	細かい周期で発生する圧延方向と直角な折れ、模様	
			原因	①レベラー条件不適合等で発生 ②圧延機や研磨機の回転物などの異常振動	
			備考	(1)chatter mark (2)ギアマーク、ロールシマ、畳目 (3)冷板、冷帯のみ	
40	錆（さび）		定義	水濡れや結露、鉄製品からのもらい錆による発錆。	
			状態	水濡れや結露による発錆。	
			原因	①水濡れや結露による発錆 ②汗の滴下跡の発錆 ③帯鉄、ハッカーなど鉄製品との接触によるもらい錆	
			備考	(2)水濡れ、結露（模様） (3)もらい錆は「錆付き」という。	

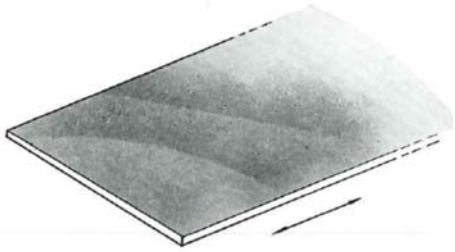
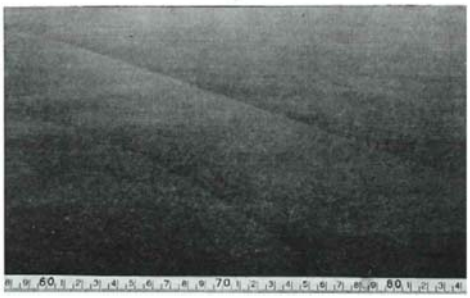
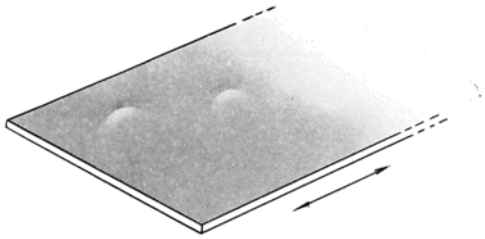
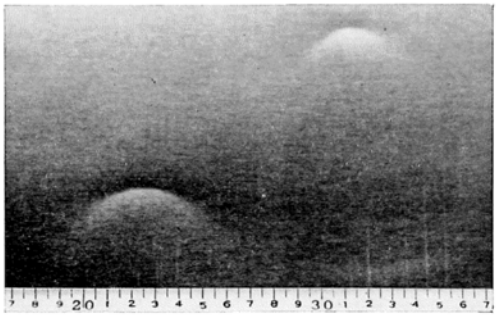
41	肌アレ （素材疵）		定義	表面の全面または一部が光沢の無い梨地肌となっている	
			状態	光沢の無い梨の皮のような肌	
			原因	①材料の過熱、熱処理時の過熱 ②スケール疵の軽いもの ③材料のスケール疵の残存（冷板、冷帯のみ） ④ロール肌荒れのプリント	
			備考	(1)rough surface (2)焼鈍肌荒れ (3)結晶粒粗大により主として絞り加工時に現れる肌荒れはオレンジピールという。	
42	肌アレ （素材疵）	スケール残（ざん） （素材疵）	定義	熱処理や酸洗の不適正により、スケール除去が不十分で表面に残った欠陥	
			状態	スケール除去が不十分で表面に残ったもの	
			原因	①熱処理の不適正 ②酸洗の不適正	
			備考	(1)remaining of scale、scale pattern (2)スケール付着	
43	肌アレ （素材疵）	酸洗肌アレ （素材疵）	定義	過酸洗により、酸洗後のはだが荒れて、ややぎらついてみえるもの	
			状態	酸洗後はだが荒れて、ややぎらついてみえるもの	
			原因	①過酸洗	
			備考	(1)over pickling (2)酸洗肌アレ	

44	肌アレ （素材疵）	酸ムラ （素材疵）	定義	酸洗および水洗の不適正により発生した表面の変色、汚染など	
			状態	酸洗後表面の変色、汚染などを生じたもの	
			原因	①材料表面状態の不均一　②酸洗および水洗の不適正	
			備考	(1)poor pickling　(2)酸洗模様、洗イムラ、酸ヨゴレ、酸ヤケ、焼き付け	
45	スケール疵 （素材疵）		定義	表面にスケールが圧着またはかみ込んだもの	
			状態	表面にスケールが圧着またはかみ込んだもの、一部は脱落してあばた状またはへこみ状になっている	
			原因	①熱延のスケール除去不十分	
			備考	(1)fleck scale、scale mark (2)程度の軽いものをハダアレということがある	
46	ヘリングボーン （素材疵）		定義	一般に圧延方向に対しある角度をもち、製品幅の中心線両側に対象に現れた波状のきず	
			状態	一般に圧延方向に対しある角度をもち、製品幅の中心線両側に対象に現れた波状のきず	
			原因	①冷間圧延における圧下と張力の不均一	
			備考	(1)herring born、spreader mark、tree　(2)サザナミ、アバラボネ (3)冷板、冷帯のみ	

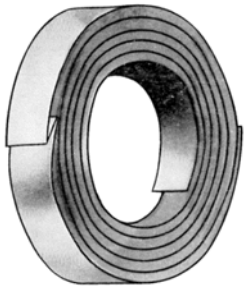
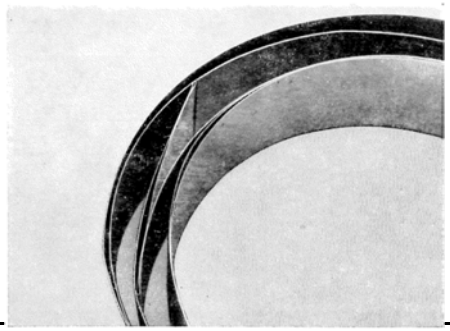
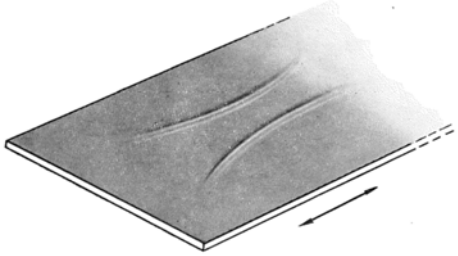
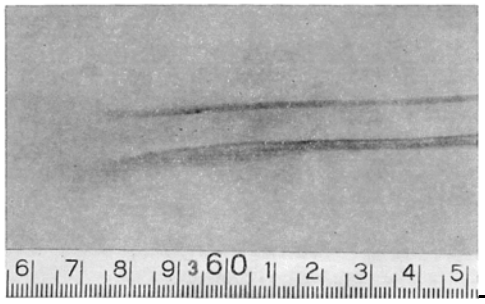
47	リビング （素材疵）	定義	主としてフェライト系ステンレス鋼に現れた圧延方向に平行な蜜な縦じわ	
		状態	主としてフェライト系ステンレス鋼に現れた圧延方向に平行な蜜な縦じわ	
		原因	①各成分値間のバランス不良　②熱間圧延の不適正　③熱処理の不適正	
		備考	(1)ribbiong、ridging　(2)リジング (3)冷板、冷帯のみ	
48	ストリンガ （素材疵）	定義	含チタンステンレス鋼特有のもので、表面に白っぽく浮きでた帯状の模様、薄くラミネーションをおこしているものもある	
		状態	含チタンステンレス鋼特有のもので、表面に白っぽく浮きでた帯状の模様、薄くラミネーションをおこしているものもある	
		原因	①チタン化合物の介在物	
		備考	(1)stringer、titanium streak (2)チタンストリーク	
49	ストレッチャストレイン （素材疵）	定義	主としてフェライト系ステンレス鋼に圧延方向と約45度から90度方向に現れたわずかにへこんだ模様	
		状態	主としてフェライト系ステンレス鋼に圧延方向と約45度から90度方向に現れたわずかにへこんだ模様	
		原因	①調質圧延率不足	
		備考	(1)stretcher strain、Luder's line (2)アバラボネ (3)冷板、冷帯のみ	

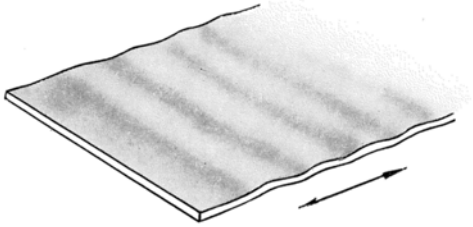
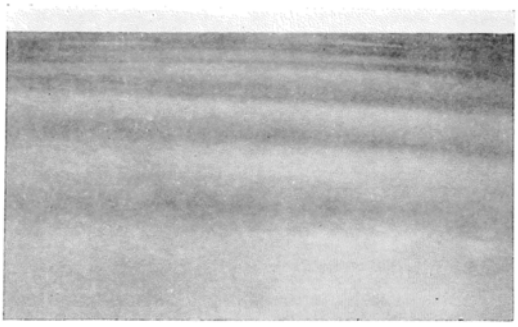
50	研磨目残り （素材疵）	定義	研磨目の残ったもの	
		状態	（疵取り）研磨目の残ったもの	
		原因	①材料の局部的な過度の疵取り ②砥粒のあらずぎ　③研磨後の冷間圧延率不足	
		備考	(1)poor　conditioning　(2)疵取り跡、グラインダ跡、ベルトマーク、研磨跡　(3)冷板、冷帯のみ	
51	光沢不良 （素材疵）	定義	光沢が仕様と異なる状態	
		状態		
		原因		
		備考	(2)解像度不良、色調不良	
52	テンパーカラー （素材疵）	定義	表面が酸化し、青～黄色みがかった変色をしたもの	
		状態	表面が酸化し、青～黄色みがかった変色をしたもの	
		原因	①酸化雰囲気中での高温加熱 ②熱処理時の加熱雰囲気不適	
		備考		

1．4．折れ

53	折れ	紙折れ	定義	間紙の挿入時のシワにより発生した折れ	
			状態	間紙の挿入時のシワが表面にプリントされた模様	
			原因	①間紙の送り調整不良　②間紙の不良	
			備考	(1)paper pattern　(2)((間)紙)シワ、ペーパー折れ、(間)紙折れ、紙圧キズ	
54	折れ	三日月折れ	定義	パイリング時のストッパーやハンドリング時に入る折れ。 三日月状の折れとなることが多い。	
			状態	三日月状の折れ疵	
			原因	①取り扱い不良　②パイリング時のストッパー調整不良　③スリッターやガイドなどの調整不良	
			備考	(1)broken surface、cross break、coil break　(2)折れ、パイラー折れ、パイリング折れ、ストッパー折れ、扱い折れ、腰折れ、面折れ	
55	折れ	耳折れ	定義	局部的に端部が折れた欠陥	
			状態	局部的にエッジが折れた欠陥	
			原因	①フック・突起物への接触 ②穴たてコイルの巻きズレ	
			備考	(2)エッジ折れ	

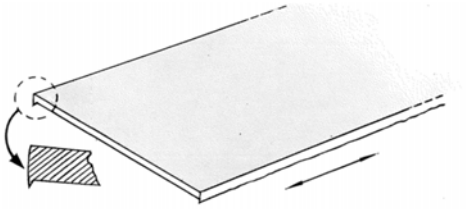
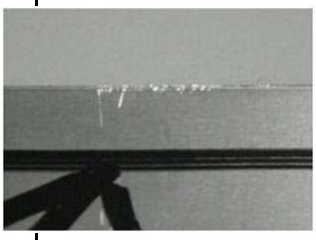
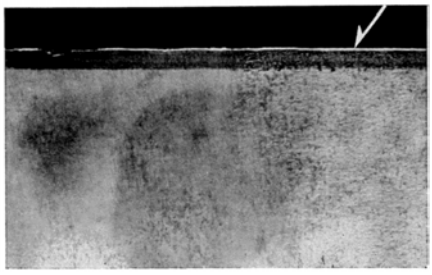
56	折れ	サイドガイド折れ	定義	サイドガイドの設定不良により発生する折れ状の模様	
			状態	板エッジ部に発生する折れ状の模様	
			原因	①サイドガイドの設定不良や板の蛇行に起因するサイドガイドへの異常接触	
			備考	(2)スジ	
57	エッジ小波		定義	スリットエッジのバリでレベラーで押され、耳エッジに波打ちが発生	
			状態	エッジの局部に波が発生	
			原因	①スリットのバリによるもの	
			備考	(2)耳シワ	
58	コイルブレーク		定義	鋼帯の内径部が巻き締まりにより座屈し内巻き部に折れが発生する欠陥。	
			状態	帯の巻き締まりによる内巻き部の座屈に起因する折れ疵	
			原因	①リコイラー巻取り張力不適合（巻き締め力「強」） ②紙管セット時のリコイラー拡大圧過大	
			備考	(2)バックリング、巻き締まり	

59	コイル潰れ	定義	鋼帯の自重または外力による帯鋼の潰れ欠陥	
		状態	帯の自重または外力による鋼帯の潰れ	
		原因	①リコイラー巻取り張力不適合「弱過ぎ」 ②保管不良（段積み） ③過度の外圧	
		備考	(2)（コイル）潰れ、コイル変形、巻き潰れ　(3)軽度の場合「コイル変形」という。	
60	折れこみ	定義	圧延または巻取り中、コイルの一部が折れ込んだもの	
		状態	圧延または巻取り中、コイルの一部が折れ込んだもの	
		原因	①ガイドおよびロール調整不良 ②巻取り操作不良	
		備考	(1)coil overlap (2)折れ目 (3)熱帯、冷帯のみ	
61	絞り	定義	材料が絞られて局部的にしわができ、または重なり合ったもの	
		状態	材料が絞られて局部的にしわができ、または重なり合ったもの	
		原因	①材料の形状、寸法不良 ②冷延時の左右圧下の不均衡	
		備考	(1)pinking (2)絞りキズ (3)冷板、冷帯のみ	

62	リールマーク	定義	鋼帯の巻き取り内径部にリールグリップ及びセグメント等の段差により入る折れ疵。	
		状態	リールグリップ及びセグメント等のリール凹凸の転写	
		原因	①アンコイラー又はリコイラーのリールグリップ及びセグメント等のリール凹凸の転写	
		備考	(2)グリップマーク、グリップ痕、グリップ折れ、リール折れ	
63	波	定義	板全体が圧延方向と直角に波をうったもの	
		状態	板全体が圧延方向と直角に波をうったもの	
		原因	(1)レベラー、ストレッチャーなどの矯正不良	
		備考	(1)backled wave、wave (2)タテ波、うねり、ビビリ	

2. 形状不具合

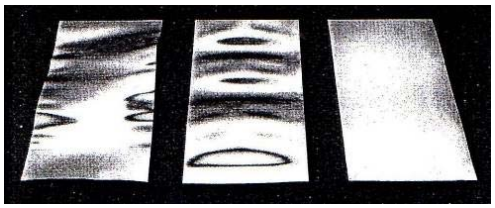
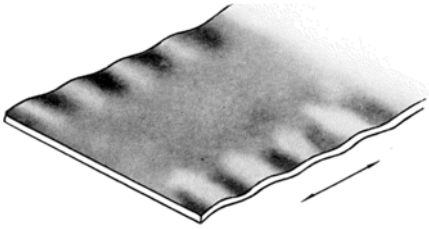
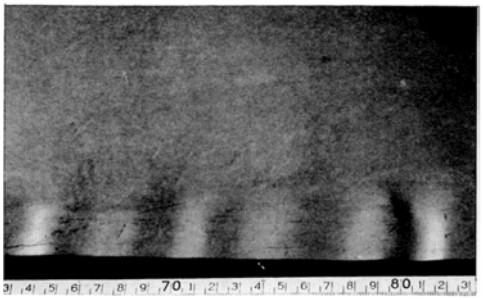
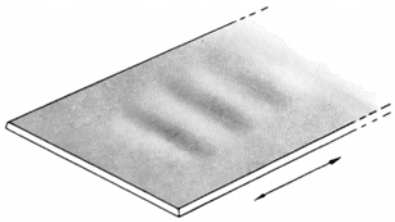
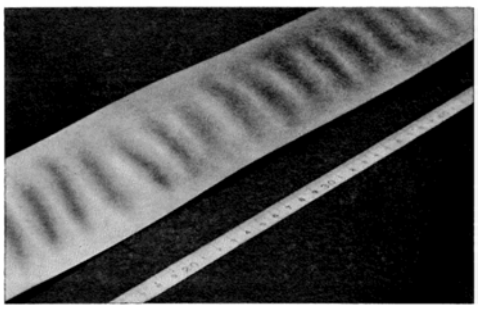
2. 1. 切断面不具合

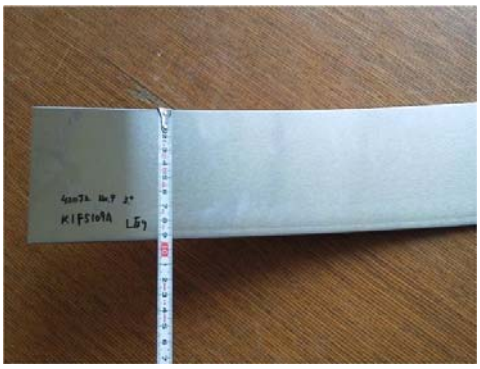
64	カエリ(burr)不良		定義	カエリが大きく仕様を満たさない場合や、カエリが側面に突き出る(タング)欠陥。	
			状態	カエリが大きく仕様を満たさない場合や、カエリが側面に突き出る(タング)欠陥	
			原因	①クリアランス、ラップ設定の不適合 ②丸刃の磨耗	
			備考	(1)burr (2)バリ不良、、切断バリ、せん断返り、タング(カエリが側面に突き出た場合)	
65	切断面不良	カエリ方向違い	定義	カエリの方向が仕様と異なる欠陥	
			状態	カエリの方向が仕様と異なる欠陥	
			原因	①作業指示ミス ②刃物設定不良	
			備考	(2)バリ不良	
66	切断面不良	ダレ	定義	切断面の近傍が切断方向にダレ込む欠陥	
			状態	切断面の近傍が切断方向にダレ込む欠陥	
			原因	①クリアランス、ラップ、ゴムリング設定の不適合	
			備考		

67	切断面不良	刃欠け	定義	丸刃の刃こぼれが原因で切断面に丸刃の外径ピッチで発生する切断面の欠陥	
			状態	カッター外径ピッチ、又は連続して発生する刃欠等の切断面転写	
			原因	①丸刃の刃欠け（刃こぼれ）が原因 刃こぼれは操作ミス、クリアランス不適合などにより発生	
			備考	(2)欠刃、刃こぼれ、雪模様（コイル側面からみて）	
68	切断面不良	耳切れ	定義	スリットロス（耳しろ）切れによる切断面不良	
			状態	スリットロス（耳しろ）切れにより巾不足や切断面不良が発生	
			原因	①蛇行　②巾ガイドセットミス　③スリットロス不足など	
			備考	(2)幅落ち	
69	切断面不良	ビビリ	定義	切断面近傍に発生する連続した小波状欠陥	
			状態	切断面近傍に発生する連続した小波状欠陥	
			原因	①丸刃クリアランス「狭」 ②板押え不足 ③刃の状態悪化　④クリアランス、ゴムリング、スリット進入角度の不適合	
			備考	(2)ビリツキ、ビリ	

70	切断面不良	セパレータ折れ	定義	スリット加工時のセパレータとの強い接触による切断面の欠陥(ビビレ、耳延び、耳折れ)	
			状態	スリット加工時のセパレータとの強い接触による発生したビビレ、耳延び、耳折れなどの欠陥	
			原因	①素材形状起因、テンション不均一による蛇行	
			備考	(2)セパスリ、ビビレ、耳のび、耳折れ	
71	シャー刃欠け		定義	シャーの刃こぼれが原因で切断面に発生する切断面の欠陥	
			状態	切断面の刃こぼれ箇所に凸状の突起が発生	
			原因	①クリアランス不適合などによるシャーの刃こぼれ	
			備考	(2)刃欠け	

２．２．平たん度不具合

72	平たん度不良		定義	鋼材の湾曲又は波状ひずみ。 定盤上でののびや反りの計測値が仕様の許容範囲を超えたもの。	
			状態	定盤上でののびや反りの計測値が仕様の許容範囲を超えた状態	
			原因	①レベラー調整不適合　②母材形状残り	
			備考	(2)形状不良	
73	平たん度不良	耳のび	定義	鋼板の幅方向端部に波が現れ、中央部は平坦であるもの。(JISG0203)	
			状態	鋼板の幅方向端部に波が現れ、中央部は平坦であるもの。(JISG0203)	
			原因	①レベラー調整不適合　②母材形状残り	
			備考	(1)egde wave　(2)耳伸び、耳延び、サイドウェーブ、縁波、耳波、ベラ	
74	平たん度不良	中のび	定義	鋼板の中央部に波が現れ、幅方向端部は平坦であるもの。(JISG0203)	
			状態	鋼板の中央部に波が現れ、幅方向端部は平坦であるもの。(JISG0203)	
			原因	①レベラー調整不適合　②母材形状残り	
			備考	(1)center buckle　(2)中伸び、腹伸び、腹延び	

75	反り		定義	鋼板全体が湾曲したもの。 圧延方向に湾曲した反り、及び圧延方向に直角に湾曲した反りがある。(JISG0203)	
			状態	鋼板全体が湾曲したもの。 圧延方向に湾曲した反り、及び圧延方向に直角に湾曲した反りがある。(JISG0203)	
			原因	①レベラー調整不適合 ②母材巻きグセの残り	
			備考	(2)L(上／下)反り、L反り、逆反り、順反り、C(上／下)反り、トラフ、カヌーイング、反り不良	
76	反り	L反り(上反り)	定義	圧延方向に上側に湾曲した反り	
			状態	圧延方向に上側に湾曲した反り	
			原因	①レベラー調整不適合	
			備考	(2)L上反り、L反り、逆反り	
77	反り	L反り(下反り)	定義	圧延方向に下側に湾曲した反り	
			状態	圧延方向に下側に湾曲した反り	
			原因	①レベラー調整不適合 ②母材巻きグセの残り	
			備考	(2)L下反り、L反り、順反り	

78	反り	巻グセ	定義	鋼帯の巻き取り工程を繰り返すと鋼帯を引出した時のL方向の反り内径側の方が強い	
			状態	鋼帯の巻き取り工程を繰り返すと鋼帯を引出した時のL方向の反り内径側の方が強い	
			原因	①母材巻きグセの残り	
			備考	(2)L反り、順反り、下反り	
79	反り	C反り	定義	圧延方向と直角に湾曲した反り	
			状態	圧延方向と直角に湾曲した反り	
			原因	①素材反り残り　②レベラー矯正不適合	
			備考	(2)C（上／下）反り、トラフ、カヌーイング	

3. 寸法不具合

80	幅寸法不良	定義	幅が幅寸法仕様内に入っていない欠陥	
		状態	幅が幅寸法仕様内に入っていないもの	
		原因	①素材不良　②トリーム設定ミス（人的確認ミス）	
		備考	(2)幅不良	
81	長さ寸法不良	定義	長さが長さ寸法仕様内に入っていない欠陥	
		状態	長さが長さ寸法仕様内に入っていないもの	
		原因	①切断寸法設定ミス（人的確認ミス）	
		備考	(2)長さ不良	
82	対角線差不良	定義	シート製品の直角度が仕様に対し外れている状態。	
		状態	シート製品の直角度が仕様に対し外れている状態。 直角度の計測方法は、垂線を用いる方法と、対角線の長さの差を用いる方法がある。	
		原因	①巾ガイドでの隙間（蛇行） ②シャー刃の傾き	
		備考	(2)対角不良、対角差不良、直角度不良	

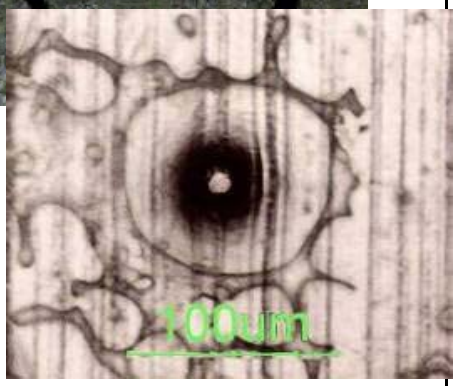
83	対辺線差不良	定義	シート製品の対辺の長さの差が仕様を外れている状態。	
		状態	シート製品の対辺の長さの差が仕様を外れている状態。	
		原因	①巾ガイドでの隙間（蛇行） ②シャー刃の傾き	
		備考	(2)長さ不良	
84	Vカット	定義	切断面が真直にならずV字形状になっている	
		状態	切断面が真直にならずV字形状になっている	
		原因	①レベラーシャーのVレーキの影響（レベラーシャーの調整不適正）	
		備考	(3)厚さにより程度が変わる	
85	横曲がり	定義	鋼板または帯鋼が幅方向に湾曲した欠陥。（JISG0203）	
		状態	板の長さの中心線に対して両サイドがどちらかにずれて曲がった状態 （横曲がり）	
		原因	①素材形状不良（幅方向残留応力の不均質） ②通板時の蛇行（巾ガイドの隙間）	
		備考	(1)Camber (2)キャンバー、トラフ	

86	LC違い	定義	圧延方向に対し、シート製品の採取方向が仕様と異なる欠陥	
		状態	圧延方向に対し、シート製品の採取方向が仕様と異なる欠陥	
		原因	①指示違い	
		備考		

4. 保護(皮)膜不良

87	保護(皮)膜シワ	定義	保護皮膜(ビニール)のシワ	
		状態	保護皮膜(ビニール)にシワが発生	
		原因	①外界起因(気温) ②保護皮膜の選定ミス ③貼付条件不備(張力など)	
		備考	(2)ビニールシワ、SPVシワ、フィルムシワ	
88	保護(皮)膜剥離	定義	保護皮膜(ビニール)の剥がれ、部分的にはがれたものを含む	
		状態	保護皮膜(ビニール)に剥がれが発生	
		原因	①保護皮膜異常 ②保護皮膜の仕様選定ミス　③貼付け温度不適	
		備考	(2)ビニール剥がれ、PVC剥がれ、フィルム浮き	
89	保護(皮)膜はみ出し	定義	保護皮膜(ビニール)のエッヂよりのはみ出し	
		状態	保護皮膜(ビニール)にはみ出しが発生(片エッヂor両エッヂ)	
		原因	①保護皮膜セット位置ミス ②蛇行	
		備考	(2)ビニールはみ出し	

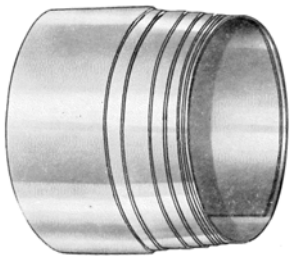
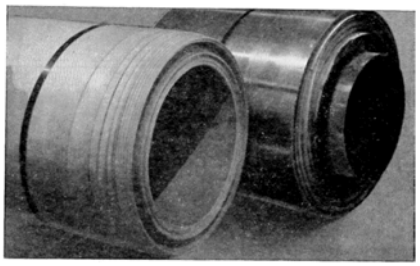
90	保護(皮)膜未貼付	定義	保護皮膜(ビニール)貼付仕様品に対して保護皮膜を貼っていない	
		状態	保護皮膜の未貼付	
		原因	①人的確認ミス(指示ミス、仕様確認怠り)	
		備考	(2)ビニール未貼付	
91	保護(皮)膜隙間過多	定義	保護皮膜(ビニール)のエッヂ部隙間過多	
		状態	エッヂ部に仕様以上(一般的に3㎜以上)の隙間(未貼付)がある	
		原因	①保護皮膜セット位置ミス ②蛇行	
		備考	(2)皮膜未貼付け	
92	保護(皮)膜規格違い	定義	仕様以外の保護皮膜(ビニール)を貼付	
		状態	仕様と異なる保護皮膜を貼付したもの	
		原因	①人的確認ミス(指示ミズ、仕様確認怠り)	
		備考	(2)ビニール仕様誤り	

93	フィッシュアイ	定義	皮膜内異物混入などにより局部的に皮膜が膨れる欠陥。 皮膜の局部的な厚み変動によるものもある。	
		状態	皮膜内異物混入などにより局部的に皮膜が膨れ魚の目のように見える欠陥。 皮膜の局部的な厚み変動によるものもある。	
		原因	①フイルム内に異物混入　②フイルムの局部的な厚み変動（資材欠陥）	
		備考	(2)異物巻き込み	
94	保護（皮）膜継目	定義	保護（皮）膜の継ぎ目が混入した欠陥	
		状態	保護（皮）膜の継ぎ目が混入した欠陥	
		原因	①保護（皮）膜継ぎ目部の除去ミス	
		備考	(2)ビニール継目	
95	保護（皮）膜汚れ	定義	保護（皮）膜が汚れている状態	
		状態	保護（皮）膜が汚れている状態	
		原因		
		備考	(2)ビニール汚れ	

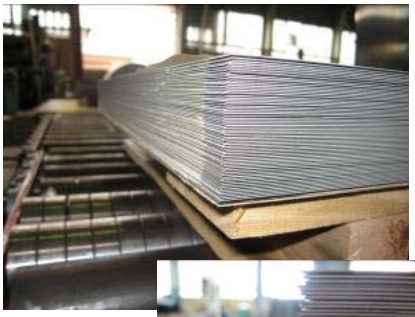
96	保護(皮)膜糊残り	定義	保護(皮)膜の糊が残った欠陥	
		状態	保護(皮)膜の糊が残った欠陥	
		原因	①保護(皮)膜の劣化　②保護(皮)膜の選定ミス	
		備考	(2)ビニール糊残り	
97	保護(皮)膜固着	定義	保護(皮)膜が取れない、取りづらい状況	
		状態	保護(皮)膜が取れない、取りづらい状況	
		原因	①保護(皮)膜の劣化　②保護(皮)膜の選定ミス	
		備考	(2)ビニール固着	

5. 梱包・荷姿不具合

98	間紙不良	定義	間紙が板よりずれていたり折れ曲がって入ること	
		状態	間紙が板よりずれていたり折れ曲がって入ること	
		原因	①間紙のしわ　②間紙挿入条件不適正	
		備考	⑵中間紙不良、合紙不良	
99	間紙欠落	定義	間紙が挿入されていない状態	
		状態		
		原因		
		備考	⑵合紙欠落、間紙無し	
100	巻きずれ （JISG4304,4305）	定義	コイル端面が不揃いで巻きがずれているもの	
		状態	コイル端面が不揃いで巻きがずれているもの	
		原因	①セパレータ調整不足　②巻取り張力不適正 ③コイル押さえ不良 ④ライン停止後の立ち上がり	
		備考	⑵エッジ不揃い、テレスコープ、たけのこ	

101	巻きずれ	テレスコープ	定義	コイル端面が不揃いでたけのこ状になったもの	
			状態	コイル端面が不揃いでたけのこ状になったもの	
			原因	①巻取り張力アンバランス ②セパレータ設定不良 ③リコイラーへの差込位置不良 ④素材のクラウン ⑤コイル押さえ不良 ⑥ライン停止後の立ち上がり	
			備考	(1)telescope (2)たけのこ、テレスコ	
102	ビルドアップ		定義	バリ高さ大の鋼帯を巻きつけることによるエッジ部が盛り上がる現象	
			状態	バリ高さ大の鋼帯を巻きつけることによるエッジ部が盛り上がる現象	
			原因	(1)クリアランス、ラップ設定の不適合によるバリ高 (2)耳のびによるビルドアップ	
			備考	(2)エッジビルドアップ、ハンマーエッジ	
59	コイル潰れ (折れ)		定義	鋼帯の自重または外力による帯鋼の潰れ欠陥	
			状態	帯の自重または外力による鋼帯の潰れ	
			原因	①リコイラー巻取り張力不適合「弱過ぎ」 ②保管不良(段積み) ③過度の外圧	
			備考	(2)(コイル)潰れ、コイル変形、巻き潰れ	

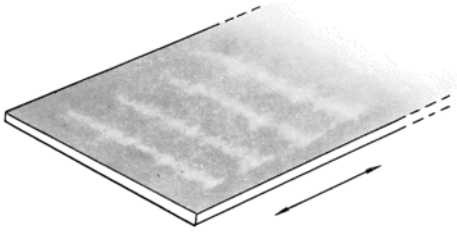
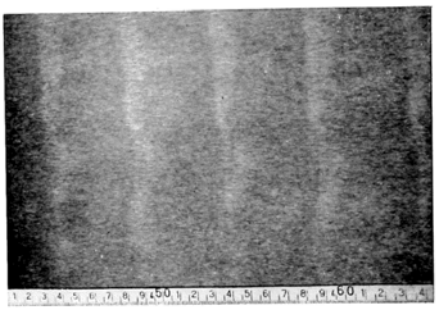
103	梱包仕様間違い	定義	仕様と異なる梱包	
		状態	仕様と異なる梱包状態	
		原因	①人的確認ミス（指示ミス、仕様確認怠り）	
		備考		
104	梱包不良	定義	仕様間違い以外の梱包不備	
		状態	仕様間違い以外の何らかの梱包不良が発生している状態	
		原因	①荷扱いの不適正　②外部からの衝撃	
		備考		
105	荷崩れ	定義	運搬、保管の際に荷にズレが生じたもの	
		状態	荷にズレが生じている状態	
		原因	①保管不備　②荷締め不良（不足）　③輸送中の事故	
		備考		

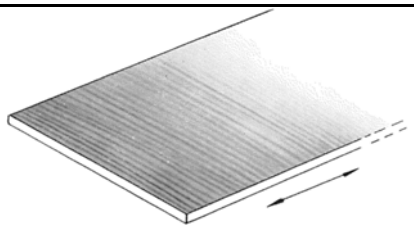
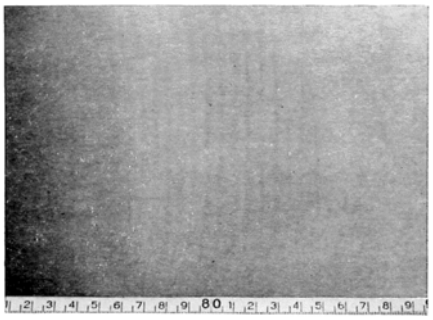
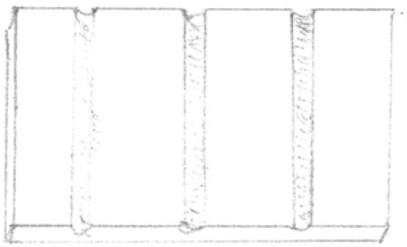
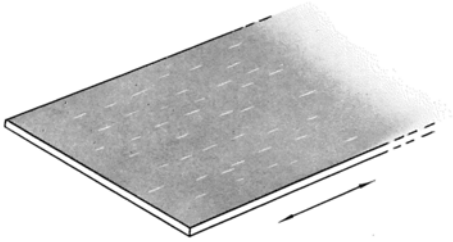
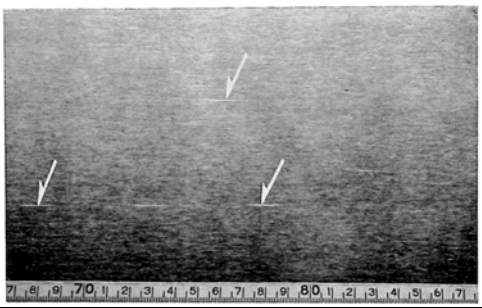
106	積載不良	定義	シート製品の積みがずれている状態	
		状態	シート製品の積みがずれている状態	
		原因	①パイラー設定の不適合	
		備考	(2)エッジ不揃い　端面不揃い	
107	(コイル)重量違い	定義	製品の重量が異なっている状態。 単重が仕様範囲から外れるものを単重違いということもある。	
		状態	製品の重量が異なっている状態	
		原因	①単重指示、確認ミス　②重量計測ミス	
		備考		
108	(シート)員数違い	定義	シートやフープの員数が異なっている状態	
		状態	シートやフープの員数が異なっている状態	
		原因	①員数指示、確認ミス　②員数計測ミス	
		備考		

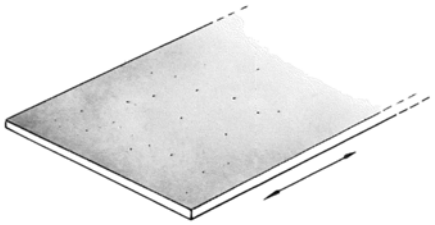
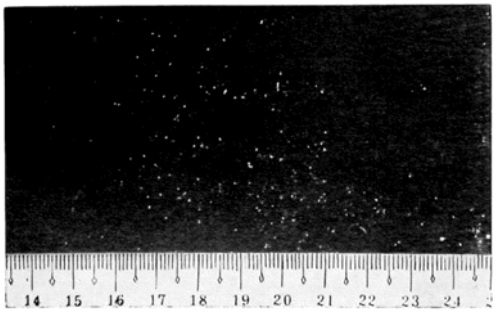
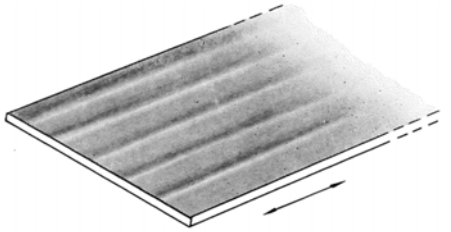
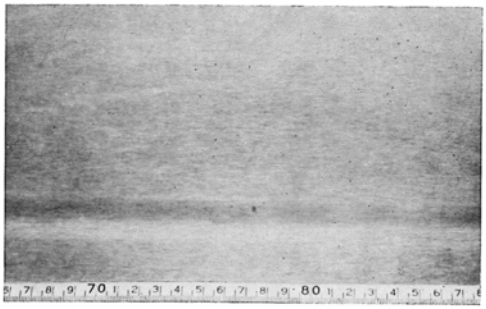
109	基準面違い	定義	コイルまたはシートの基準（保証）面が仕様と異なっている状態	
		状態		
		原因		
		備考		
110	仕上げ違い	定義	コイルまたはシートの仕上げが仕様と異なっている状態	
		状態		
		原因		
		備考		
111	異材	定義	仕様と製品が異なる状態	
		状態		
		原因		
		備考		

６．研磨不具合

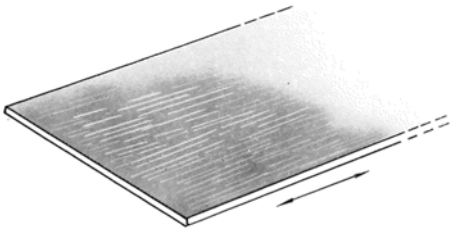
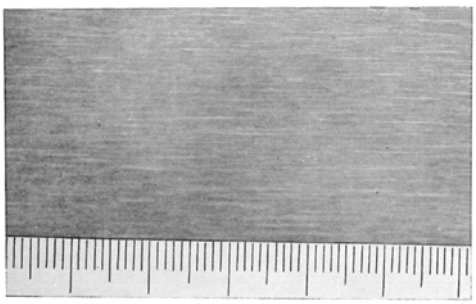
６．１．ベルト研磨不具合

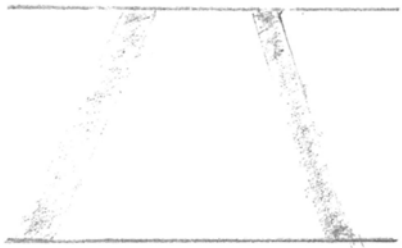
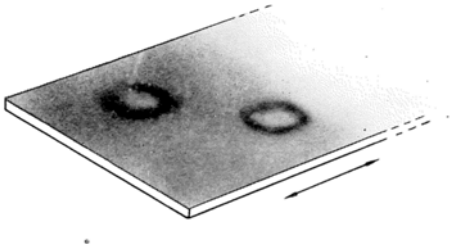
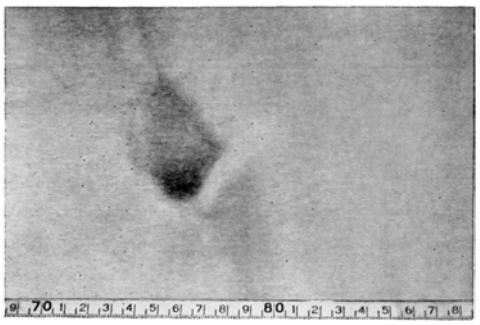
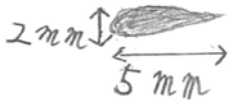
112	ベルトマーク （ベルト研磨疵）	定義	研磨ベルトの継ぎ目不良または研磨ベルトの折れに起因して、研磨方向に直角に入る横縞状の研磨ムラ。	
		状態	研磨方向に直角に現れた一定間隔の横じま模様で、一般に20～70mmの研磨ベルト長ピッチで発生する。	
		原因	①研磨ベルトの不適切な継ぎ目の跡　②研磨ベルトの折れ	
		備考	(1)belt splice mark　(2)研磨不揃い、タタミ目、スプライスマーク　(3)研摩板、研摩帯のみ	
113	研磨ビビリ （ベルト研磨疵）	定義	研磨機の振動または回転ブレにより発生する。 幅方向に入る短ピッチの研磨ムラ及び折れ。	
		状態	研磨方向と直角に短ピッチで入る縞状模様	
		原因	①研磨機の振動　②研磨機の回転ブレ	
		備考	(3)不合格となる場合は、一般には再研磨で対応が可能。	
114	オシレート跡 （ベルト研磨疵）	定義	コイルのエンジ部で、研磨ベルトの砥粒が磨滅し発生するエッジ部の研磨ムラ	
		状態	コイルのエッジ部に、約10mmの幅で発生する研磨ムラ	
		原因	①コイルのエッジ部で研磨ベルトの砥粒を磨滅	
		備考	(2)研磨エッジ不良　(3)コイルエッジのトリム代に入るように幅を設計する。	

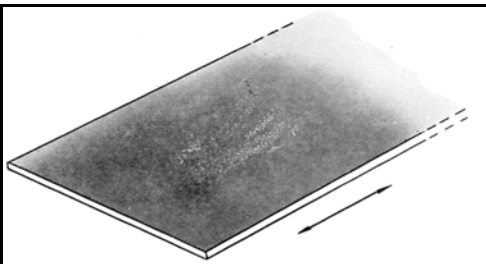
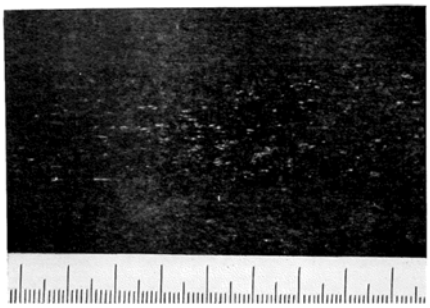
115	研磨チャタマーク （ベルト研磨疵）	定義	研磨方向と直角にはいったしま状模様	
		状態	圧延方向と直角に現れたしま状模様で、感触はほとんどなく、一般にベルトマークよりしまのピッチが小さい	
		原因	①コンタクトロールの偏芯　②研摩機の振動　③送り速度の変動　④材料チャタマーク　⑤研磨圧力の不足	
		備考	(1)chatter mark（by polishing）(2)チャタマーク、研摩ビビリ (3)研摩板、研摩帯のみ	
116	ベルトグラインダー（BG）停止マーク （ベルト研磨疵）	定義	研磨機のライン停止により発生する。 板厚変化を伴う削り込み。	
		状態	コイルの幅方向に発生する凹みを伴う線上の研磨ムラ	
		原因	①ライン停止による局部研磨	
		備考	(2)BGストップ	
117	研磨スクラッチ （ベルト研磨疵）	定義	研磨方向のやや深い光った疵。 研磨ベルトの砥粒欠けや、削り屑の巻き込みにより発生する粗目。	
		状態	部分的にみられる研摩方向のやや深い光ったカキ疵。 研磨方向にベルト長さピッチで発生する。	
		原因	①研摩ベルトの接触不良　②砥粒の不ぞろい　③研磨ベルトの砥粒の欠け　④削り屑の巻き込み	
		備考	(1)grit scratch (2)研摩スジ、スクラッチ、バウンド跡、スクラッチ目残り (3)研摩板、研摩帯のみ	

118	ト粒カミ込み （ベルト研磨疵）	定義	研磨時に砥粒または異物を噛みこんで発生した小さな凹み、またはスリ疵	
		状態	表面に散在する光った小さな凹み、またはスリ疵	
		原因	①研摩時の砥粒または異物のカミコミ	
		備考	(1)dent（by polishing）(2)当てキズ (3)研摩板、研摩帯のみ	
119	研磨ムラ （ベルト研磨疵）	定義	部分的にムラがあり均一に研磨されていない欠陥	
		状態	幅方向に均一に研磨されず、部分的にムラがあり一様性を欠いたもの	
		原因	①研磨ベルトの押し付け圧力の不均一 ②材料の形状不良 ③研磨ベルト砥粒の不均一な磨耗	
		備考	(1)uneven polishing (3)研磨板、研磨帯のみ	

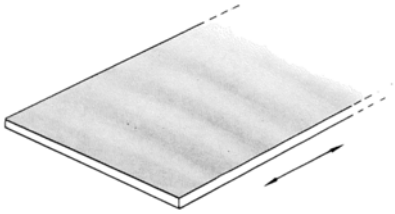
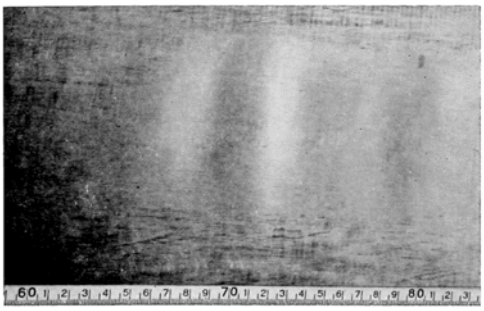
6．2．バフ研磨不具合

120	粗目残り （バフ研磨疵）	定義	前の研磨の粗い砥線が残り研磨目と合わず目だったもの	
		状態	前の研磨の粗い砥線が残り研磨目と合わず目だったもの	
		原因	①研磨工程の不適正	
		備考	(1)rough grinding line (2)研摩目、アラ目、研磨残り (3)研磨板、研磨帯のみ	

121	研磨剤塗布跡 （バフ研磨疵）	定義	回転する羽布に研磨剤を塗るときに発生する、幅方向の塗布跡および筋。 塗布前後で光沢差が出る場合もある。	
		状態	幅方向に斜めに入る帯状の模様	
		原因	①回転する羽布への研磨剤塗布	
		備考	(3)研磨剤塗布跡は技術的に克服できないため、不可となる場合にはシート研磨による対応となる。	
122	研磨焼け （バフ研磨疵）	定義	研磨による局部的な変色	
		状態	研摩面が局部的に過熱されて変色したもの	
		原因	①研磨面のあたり不均一　②研磨圧力、速度の不適正　③研磨剤の不足	
		備考	(1)discolouration（by pilishing）(2)焼け（3）研磨板、研磨帯のみ	
123	メダカ （バフ研磨疵）	定義	研磨カス付着による色調ムラ	
		状態	研磨カスが付着しており、これを除くと白っぽい点が現れ色調ムラとなる。	
		原因	①冬場の低温時に起こりやすく、羽布および被加工材の温度不足	
		備考	(3)研磨カス除去後色調ムラがなければ汚れ付着	

124	スノー （研磨疵）	定義	表面の細かい凹みの群集で白っぽく雪状になったもの、または白色脱脂材の残存したもの	
		状態	表面の細かい凹みの群集で白っぽく雪状になったもの、または白色脱脂材の残存したもの	
		原因	(1)非金属介在物 (2)異物の飛び込み (3)はだあれ (4)研磨後の脱脂材の除去不良	
		備考	(1)snow (2)メダカ（バフ研磨起因でなくても類似形態の不良をメダカと呼ぶことがある）(3)研磨板、研磨帯のみ	

6．3．その他研磨不具合

125	研磨歪 （研磨疵）	定義	研磨により発生した形状不良	
		状態	研磨により反り、のびなどの平坦度不良が発生したもの	
		原因	①研磨圧力過大 ②局部的な研磨による研磨の熱歪	
		備考	(1)poor flatness（by polishing） (2)研磨折れ、ヒズミ、ソリ (3)研磨板、研磨帯のみ	
126	未研磨 （研磨疵） ※→肌へ	定義	研磨仕様で研磨されていないもの	
		状態	研磨仕様で研磨されていないもの。 コイル研磨の先後端部混入など。	
		原因	①コイル研磨の先後端部混入 ②異材	
		備考		

ステンレス鋼薄板欠疵呼称　索引

	俗称	読み	区分	No.	疵名（標準）		備考
					大分類	中分類	
あ	合紙欠落	アイシケツラク	荷姿	98	間紙欠落		
	合紙不良	アインシフリョウ	荷姿	98	間合紙不良		
	圧延方向違い	アツエンホウコウチガイ	寸法	86	LC違い		
	扱い折れ	アツカイオレ	折れ	54	折れ	三日月折れ	
	圧下疵	アッカキズ	線状	9	（ロール）停止マーク		（素材疵）
	当て疵	アテキズ	点状	23	打ち疵		
	当て疵	アテキズ	研磨疵	118	ト粒カミ込み		（ベルト研磨疵）
	穴	アナ	点状	34	穴		（素材疵）
	穴開き	アナアキ	点状	34	穴		（素材疵）
	アバラボネ	アバラボネ	肌・模様	46	ヘリングボーン		（素材疵）
	アバラボネ	アバラボネ	肌・模様	49	ストレッチャストレイン		（素材疵）
	アブレーション	アブレーション	肌・模様	36	アブレーション		
	洗い斑	アライムラ	肌・模様	44	肌アレ	酸ムラ	（素材疵）
	粗目（残り）	アラメ（ノコリ）	研磨疵	120	粗目残り		（バフ研磨疵）
い	異材	イザイ	荷姿	111	異材		
	板押え痕	イタオサエアト	点状	29	押し疵	シャーリング押え痕	
	糸屑押込み	イトクズオシコミ	点状	27	押し疵	糸屑押込み	
	糸ハガレ	イトハガレ	線状	14	線ヘゲ		（素材疵）
	異物付着	イブツフチャク	肌・模様	37	異物付着		
	異物巻き込み	イブツマキコミ	皮膜	93	フィッシュアイ		
	色ムラ	イロムラ	肌・模様	38	汚れ		
	員数違い	インズウチガイ	荷姿	108	（シート）員数違い		
う	上反り	ウエソリ	平坦度	76	反り	L反り（上反り）	
	打ち疵	ウチキズ	点状	23	打ち疵		
	うねり	ウネリ	折れ	63	波		
え	エッジ打ち疵	エッジウチキズ	点状	24	打ち疵	エッジ打ち疵	
	エッジ折れ	エッジオレ	折れ	55	折れ	耳折れ	
	エッジ小波	エッジコナミ	折れ	57	エッジ小波		
	エッジビルドアップ	エッジビルドアップ	梱包	102	ビルドアップ		
	エッジシームス	エッジシームス	線状	22	耳割れ		（素材疵）
	エッジシーム疵	エッジシームキズ	線状	15	（エッジ）シーム疵		（素材疵）
	エッジ不揃い	エッジフゾロイ	荷姿	100	巻きずれ（JISG4304,4305）		
	エッジ不揃い	エッジフゾロイ	荷姿	106	積載不良		
	LC違い	エルシーチガイ	寸法	86	LC違い		
	L反り（上反り）	エルソリ	平坦度	76	反り	L反り（上反り）	
	L反り（下反り）	エルソリ	平坦度	77	反り	L反り（下反り）	
	L反り（下反り）	エルソリ	平坦度	78	反り	巻グセ	
お	押し疵	オシキズ	点状	25	押し疵		
	押しコミ	オシコミ	点状	25	押し疵		
	オッシレート跡	オッシレートアト	研磨疵	114	オッシレート跡		（ベルト研磨疵）
	折れ	オレ	折れ	53	折れ	紙折れ	
	折れ	オレ	折れ	54	折れ	三日月折れ	
	折れこみ	オレコミ	折れ	60	折れこみ		（素材疵）
	折れ目	オレメ	折れ	60	折れこみ		（素材疵）
か	ガウジ疵	ガウジキズ	線状	12	共ズレ疵		
	カエリ不良	カエリフリョウ	切断面	64	カエリ（burr）不良		
	カエリ方向違い	カエリホウコウチガイ	切断面	65	切断面不良	カエリ方向違い	
	紙シワ	カカミシワ	折れ	53	折れ	紙折れ	
	カキ疵	カキキズ	線状	1	カキ疵		
	カキ疵	カキキズ	線状	12	共ズレ疵		
	カキヘゲ	カキヘゲ	線状	1	カキ疵		
	カッター疵	カッターキズ	線状	6	カッターマーク		
	カッターマーク	カッターマーク	線状	6	カッターマーク		
	カヌーイング	カヌーイング	平坦度	79	反り	C反り	
	紙圧疵	カミアツキズ	折れ	53	折れ	紙折れ	
	紙圧着	カミアッチャク	肌・模様	37	異物付着		
	（紙）折れ	カミオレ	折れ	53	折れ	紙折れ	
	間紙欠落	カンシケツラク	荷姿	98	間紙欠落		
	間紙シワ	カンシシワ	折れ	53	折れ	紙折れ	
	間紙無し	カンシナシ	荷姿	99	間紙欠落		
	間紙不良	カンシフリョウ	荷姿	98	間合紙不良		
き	ギアマーク	ギアマーク	肌・模様	39	チャタマーク		
	基準面違い	キジュンメンチガイ	荷姿	109	基準面違い		
	疵取り跡	キズトリアト	肌・模様	50	研磨目残り		（素材疵）
	逆反り	ギャクゾリ	平坦度	76	反り	L反り（上反り）	
	キャンバー	キャンバー	寸法	85	横曲がり		
	切れ込み	キレコミ	線状	22	耳割れ		（素材疵）
く	グラインダ跡	グラインダアト	肌・模様	50	研磨目残り		（素材疵）
	グラインダ停止マーク	グラインダテイシマーク	研磨疵	116	ベルトグラインダ停止マーク		（ベルト研磨疵）
	グリップ折れ	グリップオレ	折れ	62	リールマーク		
	グリップ痕（マーク）	グリップコン（マーク）	折れ	62	リールマーク		
け	形状不良	ケイジョウフリョウ	平坦度	72	平たん度不良		
	欠刃	ケツジン	切断面	67	切断面不良	刃欠け	
	結露（模様）	ケツロ（モヨウ）	肌・模様	40	銹（さび）		
	研磨跡	ケンマアト	肌・模様	50	研磨目残り		（素材疵）
	研磨エッジ不良	ケンマエッジフリョウ	研磨疵	114	オッシレート跡		（ベルト研磨疵）
	研磨オレ	ケンマオレ	研磨疵	125	研磨歪		（研磨疵）
	研磨材塗布跡	ケンマザイトフアト	研磨疵	121	研磨材塗布跡		（バフ研磨疵）
	研磨スクラッチ	ケンマスクラッチ	研磨疵	117	研磨スクラッチ		（ベルト研磨疵）

	俗称	読み	区分	No.	疵名（標準）		備考
					大分類	中分類	
	研磨すじ	ケンマスジ	研磨疵	117	研磨スクラッチ		（ベルト研磨疵）
	研磨ソリ	ケンマソリ	研磨疵	125	研磨歪		（研磨疵）
	研磨チャタマーク	ケンマチャタマーク	研磨疵	115	研磨チャタマーク		（ベルト研磨疵）
	研磨歪	ケンマヒズミ	研磨疵	125	研磨歪		（研磨疵）
	研磨ビビリ	ケンマビビリ	研磨疵	113	研磨ビビリ		（ベルト研磨疵）
	研磨ビビリ	ケンマビビリ	研磨疵	115	研磨チャタマーク		（ベルト研磨疵）
	研磨不揃い	ケンマフゾロイ	研磨疵	112	ベルトマーク		（ベルト研磨疵）
	研磨ムラ	ケンマムラ	研磨疵	119	研磨ムラ		（ベルト研磨疵）
	研磨目（残り）	ケンマメ（ノコリ）	研磨疵	120	粗目残り		（バフ研磨疵）
	研磨目残り	ケンマメノコリ	肌・模様	50	研磨目残り		（素材疵）
	研磨焼け	ケンマヤケ	研磨疵	122	研磨焼け		（バフ研磨疵）
こ	コイル重量違い	コイルジュウリョウチガイ	荷姿	107	（コイル）重量違い		
	コイル潰れ	コイルツブレ	折れ・荷姿	59	コイル潰れ		（荷姿・折れ）
	コイルブレーク	コイルブレーク	折れ	58	コイルブレーク		
	コイル変形	コイルヘンケイ	折れ・荷姿	59	コイル潰れ		（荷姿・折れ）
	光沢不良	コウタクフリョウ	肌・模様	51	光沢不良		（素材疵）
	腰折れ	コシオレ	折れ	54	折れ	三日月折れ	
	小波	コナミ	折れ	57	エッジ小波		
	ゴミ付き	ゴミツキ	肌・模様	37	異物付着		
	梱包仕様間違い	コンポウシヨウチガイ	荷姿	103	梱包仕様間違い		
	梱包不良	コンポウフリョウ	荷姿	104	梱包不良		
さ	サイドウェーブ	サイドウェーブ	平坦度	73	平たん度不良	耳のび	
	サイドガイド折れ	サイドガイドオレ	折れ	56	折れ	サイドガイド折れ	
	サザナミ	サザナミ	肌・模様	46	ヘリングボーン		（素材疵）
	銹（さび）	サビ	肌・模様	40	銹（さび）		
	酸洗肌アレ	サンセンハダアレ	肌・模様	43	肌アレ	酸洗肌アレ	（素材疵）
	酸洗模様	サンセンモヨウ	肌・模様	44	肌アレ	酸ムラ	（素材疵）
	酸ムラ	サンムラ	肌・模様	44	肌アレ	酸ムラ	（素材疵）
	酸焼け	サンヤケ	肌・模様	44	肌アレ	酸ムラ	（素材疵）
	酸汚れ	サンヨゴレ	肌・模様	44	肌アレ	酸ムラ	（素材疵）
し	仕上げ違い	シアゲチガイ	荷姿	110	仕上げ違い		
	C反り	シーソリ	平坦度	79	反り	C反り	
	シート員数違い	シートインズウチガイ	荷姿	108	（シート）員数違い		
	下反り	シタゾリ	平坦度	77	反り	L反り（下反り）	
	下反り	シタゾリ	平坦度	78	反り	巻グセ	
	紙粉圧着	シフンアッチャク	肌・模様	37	異物付着		
	絞り（疵）	シボリ（キズ）	折れ	61	絞り		（素材疵）
	シミ	シミ	肌・模様	38	汚れ		
	シーム疵	シームキズ	線状	15	（エッジ）シーム疵		（素材疵）
	シャー刃欠け	シャーハカケ	切断面	71	シャー刃欠け		
	シャー裏面スリ疵	シャーリメンスリキズ	線状	3	スリ疵	（シャー裏面）スリ疵	
	シャーリング押え痕	シャーリングオサエアト	点状	29	押し疵	シャーリング押え痕	
	集積（スリ）疵	シュウセキスリキズ	線状	5	スリ疵	集積（スリ）疵	
	重量違い	ジュウリョウチガイ	荷姿	107	（コイル）重量違い		
	順反り	ジュンゾリ	平坦度	77	反り	L反り（下反り）	
	順反り	ジュンゾリ	平坦度	78	反り	巻グセ	
	焼鈍肌荒れ	ショウドンハダアレ	肌・模様	41	肌アレ		
す	スクラッチ	スクラッチ	研磨疵	117	研磨スクラッチ		（ベルト研磨疵）
	スクラッチ目残り	スクラッチメノコリ	研磨疵	117	研磨スクラッチ		（ベルト研磨疵）
	スケール疵	スケールキズ	肌・模様	45	スケール疵		（素材疵）
	スケール残（ざん）	スケールザン	肌・模様	42	肌アレ	スケール残（ざん）	（素材疵）
	スケール付着	スケールフチャク	肌・模様	42	肌アレ	スケール残（ざん）	（素材疵）
	筋	スジ	折れ	56	折れ	サイドガイド折れ	
	筋疵	スジキズ	線状	15	（エッジ）シーム疵		（素材疵）
	筋剥れ	スジハガレ	線状	15	（エッジ）シーム疵		（素材疵）
	ストッパー折れ	ストッパーオレ	折れ	54	折れ	三日月折れ	
	ストリンガ	ストリンガ	肌・模様	48	ストリンガ		（素材疵）
	ストレッチャー跡	ストレッチャーアト	点状	35	チャック跡		（素材疵）
	ストレッチャストレイン	ストレッチャストレイン	肌・模様	49	ストレッチャストレイン		（素材疵）
	スノー	スノー	研磨疵	124	スノー		（バフ研磨疵）
	スプライスマーク	スプライスマーク	研磨疵	112	ベルトマーク		（ベルト研磨疵）
	スリ疵	スリキズ	線状	2	スリ疵		
	スリップ疵	スリップキズ	線状	10	（ロール）スリップ疵		
	スリップ疵	スリップキズ	線状	12	共ズレ疵		
	スリバー	スリバー	線状	13	山ヘゲ		（素材疵）
せ	積載不良	セキサイフリョウ	荷姿	106	積載不良		
	切断バリ不良	セツダンバリフリョウ	切断面	64	カエリ（burr）不良		
	セパスリ	セパスリ	切断面	70	切断面不良	セパレータ折れ	
	セパレータ折れ	セパレータオレ	切断面	70	切断面不良	セパレータ折れ	
	線疵	センキズ	線状	2	スリ疵		
	線キズ	センキズ	線状	15	（エッジ）シーム疵		（素材疵）
	線状疵	センジョウキズ	線状	15	（エッジ）シーム疵		（素材疵）
	線状地疵	ゼンジョウジキズ	線状	15	（エッジ）シーム疵		（素材疵）
	線状ハガレ	センジョウハガレ	線状	14	線ヘゲ		（素材疵）
	線ヘゲ	センヘゲ	線状	14	線ヘゲ		（素材疵）
そ	層間スリップ疵	ソウカンスリップキズ	線状	12	共ズレ疵		
	層状割れ	ソウジョウワレ	線状	18	二枚割れ		（素材疵）
	反り	ソリ	平坦度	75	反り		
た	対角（線差）不良	タイカク（センサ）フリョウ	寸法	82	対角線差不良		
	対辺線差不良	タイヘンサフリョウ	寸法	83	対辺線差不良		

	俗称	読み	区分	No.	疵名(標準)		備考
					大分類	中分類	
	たけのこ	タケノコ	荷姿	101	巻きずれ	テレスコープ	
	打痕	ダコン	点状	23	打ち疵		
	畳目	タタミメ	肌・模様	39	チャタマーク		
	畳目	タタミメ	研磨疵	112	ベルトマーク		(ベルト研磨疵)
	タッチマーク	タッチマーク	線状	9	(ロール)停止マーク		(素材疵)
	縦線疵	タテセンキズ	線状	15	(エッジ)シーム疵		(素材疵)
	縦線地疵	タテセンジキズ	線状	15	(エッジ)シーム疵		(素材疵)
	縦波	タテナミ	折れ	63	波		
	縦割れ	タテワレ	線状	20	表面割れ	縦割れ	(素材疵)
	ダレ	ダレ	切断面	66	切断面不良	ダレ	
	タング	タング	切断面	64	カエリ(burr)不良		
	端面不揃い	タンメンフゾロイ	荷姿	106	積載不良		
ち	チタンストリーク	チタンストリーク	肌・模様	48	ストリンガ		(素材疵)
	チャタマーク	チャタマーク	肌・模様	39	チャタマーク		
	チャタマーク	チャタマーク	研磨疵	115	研磨チャタマーク		(ベルト研磨疵)
	チャック跡	チャックアト	点状	35	チャック跡		(素材疵)
	直角度不良	チョッカクドフリョウ	寸法	82	対角線差不良		
つ	ツッカキ	ツッカキ	線状	1	カキ疵		
	潰れ	ツブレ	折れ・荷姿	59	コイル潰れ		(荷姿・折れ)
	停止マーク	テイシマーク	線状	9	(ロール)停止マーク		(素材疵)
て	テレスコ(ープ)	テレスコ(ープ)	荷姿	101	巻きずれ	テレスコープ	
	転写疵	テンシャキズ	点状	30	押し疵	転写疵	
	テンパーカラー	テンパーカラー	肌・模様	52	テンパーカラー		(素材疵)
と	共ズレ(疵)	トモズレ(キズ)	線状	12	共ズレ疵		
	共ズレ(疵)	トモズレ(キズ)	線状	12	共ズレ疵		
	共ズレ疵	トモズレキズ	線状	1	カキ疵		
	トラフ	トラフ	平坦度	79	反り	C反り	
	トラフ	トラフ	寸法	85	横曲がり		
	トラマーク	トラマーク	線状	8	ロールマーク	ロール汚れ	
	ト粒カミ込み	トリュウカミコミ	研磨疵	118	ト粒カミ込み		(ベルト研磨疵)
な	長さ(寸法)不良	ナガサ(スンポウ)フリョウ	寸法	81	長さ寸法不良		
	長さ(寸法)不良	ナガサ(スンポウ)フリョウ	寸法	83	対辺線差不良		
	中のび(←中延び、中伸び)	ナカノビ	平坦度	74	平たん度不良	中のび	
	波	ナミ	折れ	63	波		
に	荷崩れ	ニクズレ	荷姿	105	荷崩れ		
	二枚板	ニマイイタ	線状	18	二枚割れ		(素材疵)
	二枚割れ	ニマイワレ	線状	18	二枚割れ		(素材疵)
は	刃跡	ハアト	線状	6	カッターマーク		
	パイプ(割れ)	パイプ(ワレ)	線状	18	二枚割れ		(素材疵)
	パイラー折れ	パイラーオレ	折れ	54	折れ	三日月折れ	
	パイラー疵	パイラーキズ	線状	5	スリ疵	集積(スリ)疵	
	パイリング折れ	パイリングオレ	折れ	54	折れ	三日月折れ	
	バウンド跡	バウンドアト	研磨疵	117	研磨スクラッチ		(ベルト研磨疵)
	刃折れ	ハオレ	線状	6	カッターマーク		
	刃欠け	ハカケ	切断面	67	切断面不良	刃欠け	
	刃欠け	ハカケ	切断面	71	シャー刃欠け		
	ハガレ	ハガレ	線状	13	山ヘゲ		(素材疵)
	刃疵	ハキズ	線状	6	カッターマーク		
	ハゲ疵	ハゲキズ	線状	13	山ヘゲ		(素材疵)
	刃コボレ	ハコボレ	切断面	67	切断面不良	刃欠け	
	肌アレ	ハダアレ	肌・模様	41	肌アレ		
	肌アレ	ハダアレ	肌・模様	45	スケール疵		(素材疵)
	バックリング	バックリング	折れ	58	コイルブレーク		
	パッド疵	パッドキズ	線状	4	スリ疵	パッド(スリ)疵	
	幅(寸法)不良	ハバ(スンポウ)フリョウ	寸法	80	幅寸法不良		
	幅落ち	ハバオチ	切断面	68	切断面不良	耳切れ	
	腹のび(腹延び、腹伸び)	ハラノビ	平坦度	74	平たん度不良	中のび	
	バリ不良	バリフリョウ	切断面	64	カエリ(burr)不良		
	バリ不良	バリフリョウ	切断面	65	切断面不良	カエリ方向違い	
	ハンドリング疵	ハンドリングキズ	線状	5	スリ疵	集積(スリ)疵	
	ハンマーエッジ	ハンマーエッジ	梱包	102	ビルドアップ		
ひ	PVC規格違い	ピーブイシーキカクチガイ	皮膜	92	保護(皮)膜規格違い		
	PVC固着	ピーブイシーコチャク	皮膜	97	保護(皮)膜固着		
	PVCシワ	ピーブイシーシワ	皮膜	87	保護(皮)膜シワ		
	PVC隙間過多	ピーブイシースキマカタ	皮膜	91	保護(皮)膜隙間過多		
	PVC継目	ピーブイシーツギメ	皮膜	94	保護(皮)膜継目		
	PVC糊残り	ピーブイシーノリノコリ	皮膜	96	保護(皮)膜糊残り		
	PVC剥離	ピーブイシーハクリ	皮膜	88	保護(皮)膜剥離		
	PVCはみ出し	ピーブイシーハミダシ	皮膜	89	保護(皮)膜はみ出し		
	PVC未貼付	ピーブイシーミテンプ	皮膜	90	保護(皮)膜未貼付		
	PVC汚れ	ピーブイシーヨゴレ	皮膜	95	保護(皮)膜汚れ		
	ピッチング	ピッチング	点状	33	ピンホール		(素材疵)
	ピット	ピット	点状	33	ピンホール		(素材疵)
	ビニール規格違い	ビニールキカクチガイ	皮膜	92	保護(皮)膜規格違い		
	ビニール固着	ビニールコチャク	皮膜	97	保護(皮)膜固着		
	ビニールシワ	ビニールシワ	皮膜	87	保護(皮)膜シワ		
	ビニール隙間過多	ビニールスキマカタ	皮膜	91	保護(皮)膜隙間過多		
	ビニール継目	ビニールツギメ	皮膜	94	保護(皮)膜継目		
	ビニール糊残り	ビニールノリノコリ	皮膜	96	保護(皮)膜糊残り		
	ビニール剥離	ビニールハクリ	皮膜	88	保護(皮)膜剥離		

	俗称	読み	区分	No.	疵名(標準)		備考
					大分類	中分類	
	ビニールはみ出し	ビニールハミダシ	皮膜	89	保護(皮)膜はみ出し		
	ビニール未貼付	ビニールミテンプ	皮膜	90	保護(皮)膜未貼付		
	ビニール汚れ	ビニールヨゴレ	皮膜	95	保護(皮)膜汚れ		
	ビビリ	ビビリ	折れ	63	波		
	ビビリ	ビビリ	切断面	69	切断面不良	ビビリ	
	ビビリ	ビビリ	研磨疵	113	研磨ビビリ		(ベルト研磨疵)
	ビビレ	ビビレ	切断面	70	切断面不良	セパレータ折れ	
	皮膜異物巻き込み	ヒマクイブツマキコミ	皮膜	93	フィッシュアイ		
	皮膜規格違い	ヒマクキカクチガイ	皮膜	92	保護(皮)膜規格違い		
	皮膜固着	ヒマクコチャク	皮膜	97	保護(皮)膜固着		
	皮膜シワ	ヒマクシワ	皮膜	87	保護(皮)膜シワ		
	皮膜剥離	ヒマクシワ	皮膜	88	保護(皮)膜剥離		
	皮膜隙間過多	ヒマクスキマカタ	皮膜	91	保護(皮)膜隙間過多		
	皮膜継目	ヒマクツギメ	皮膜	94	保護(皮)膜継目		
	皮膜糊残り	ヒマクノリノコリ	皮膜	96	保護(皮)膜糊残り		
	皮膜はみ出し	ヒマクハミダシ	皮膜	89	保護(皮)膜はみ出し		
	皮膜未貼付	ヒマクミテンプ	皮膜	90	保護(皮)膜未貼付		
	皮膜汚れ	ヒマクヨゴレ	皮膜	95	保護(皮)膜汚れ		
	表面割れ	ヒョウメンワレ	線状	19	表面割れ		(素材疵)
	ビリ	ビリ	切断面	69	切断面不良	ビビリ	
	ビリツキ	ビリツキ	切断面	69	切断面不良	ビビリ	
	ビルドアップ	ビルドアップ	荷姿	102	ビルドアップ		
	ピンホール	ピンホール	点状	33	ピンホール		(素材疵)
	Vカット	ブイカット	寸法	84	Vカット		
ふ	フィッシュアイ	フィッシュアイ	皮膜	93	フィッシュアイ		
	フィルム規格違い	フィルムキカクチガイ	皮膜	92	保護(皮)膜規格違い		
	フィルム固着	フィルムコチャク	皮膜	97	保護(皮)膜固着		
	フィルムシワ	フィルムシワ	皮膜	87	保護(皮)膜シワ		
	フィルム隙間過多	フィルムスキマカタ	皮膜	91	保護(皮)膜隙間過多		
	フィルム継目	フィルムツギメ	皮膜	94	保護(皮)膜継目		
	フィルム糊残り	フィルムノリノコリ	皮膜	96	保護(皮)膜糊残り		
	フィルム剥離	フィルムハクリ	皮膜	88	保護(皮)膜剥離		
	フィルムはみ出し	フィルムハミダシ	皮膜	89	保護(皮)膜はみ出し		
	フィルム未貼付	フィルムミテンプ	皮膜	90	保護(皮)膜未貼付		
	フィルム汚れ	フィルムヨゴレ	皮膜	95	保護(皮)膜汚れ		
	膨れ	フクレ	線状	16	ブローホール		(素材疵)
	縁波	フチナミ	平坦度	73	平たん度不良	耳のび	
	ブレックライン	ブラックライン	線状	15	(エッジ)シーム疵		(素材疵)
	ブリスタ	ブリスタ	線状	16	ブローホール		(素材疵)
	ブローホール	ブローホール	線状	16	ブローホール		(素材疵)
へ	平たん度不良	ヘイタンドフリョウ	平坦度	72	平たん度不良		
	ペーパー折れ	ペーパーオレ	折れ	53	折れ	紙折れ	
	ヘゲ	ヘゲ	線状	13	山ヘゲ		(素材疵)
	ベラ	ベラ	平坦度	73	平たん度不良	耳のび	
	ヘリングボーン	ヘリングボーン	肌・模様	46	ヘリングボーン		(素材疵)
	ベルトグラインダ停止マーク	ベルトグラインダテイシマーク	研磨疵	116	ベルトグラインダ停止マーク		(ベルト研磨疵)
	ベルトスリップ	ベルトスリップ	研磨疵	116	ベルトグラインダ停止マーク		(ベルト研磨疵)
	ベルトブライドルロールスリップ	ベルトブライドルロールスリップ	線状	10	(ロール)スリップ疵		
	ベルトマーク	ベルトマーク	肌・模様	50	研磨目残り		(素材疵)
	ベルトマーク	ベルトマーク	研磨疵	112	ベルトマーク		(ベルト研磨疵)
	変色	ヘンショク	肌・模様	38	汚れ		
ほ	保護(皮)膜異物巻き込み	ホゴ(ヒ)マクイブツマキコミ	皮膜	93	フィッシュアイ		
	保護(皮)膜規格違い	ホゴ(ヒ)マクキカクチガイ	皮膜	92	保護(皮)膜規格違い		
	保護(皮)膜固着	ホゴ(ヒ)マクコチャク	皮膜	97	保護(皮)膜固着		
	保護(皮)膜シワ	ホゴ(ヒ)マクシワ	皮膜	87	保護(皮)膜シワ		
	保護(皮)膜隙間過多	ホゴ(ヒ)マクスキマカタ	皮膜	91	保護(皮)膜隙間過多		
	保護(皮)膜継目	ホゴ(ヒ)マクツギメ	皮膜	94	保護(皮)膜継目		
	保護(皮)膜糊残り	ホゴ(ヒ)マクノリノコリ	皮膜	96	保護(皮)膜糊残り		
	保護(皮)膜剥離	ホゴ(ヒ)マクハクリ	皮膜	88	保護(皮)膜剥離		
	保護(皮)膜はみ出し	ホゴ(ヒ)マクハミダシ	皮膜	89	保護(皮)膜はみ出し		
	保護(皮)膜未貼付	ホゴ(ヒ)マクミテンプ	皮膜	90	保護(皮)膜未貼付		
	保護(皮)膜汚れ	ホゴ(ヒ)マクヨゴレ	皮膜	95	保護(皮)膜汚れ		
	ホゴシ疵	ホゴシキズ	線状	12	共ズレ疵		
ま	巻き締まり	マキジマリ	折れ	58	コイルブレーク		
	巻きずれ	マキズレ	荷姿	100	巻きずれ(JISG4304,4305)		
	巻き潰れ	マキツブレ	折れ・荷姿	59	コイル潰れ		(荷姿・折れ)
	窓	マド	点状	34	穴		(素材疵)
み	(三日月)折れ	ミカヅキオレ	折れ	54	折れ	三日月折れ	
	未研磨	ミケンマ	研磨疵	126	未研磨		(研磨疵)
	水濡れ(模様)	ミズヌレ(モヨウ)	肌・模様	40	錆(さび)		
	耳荒れ	ミミアレ	線状	22	耳割れ		(素材疵)
	耳折れ	ミミオレ	折れ	55	折れ	耳折れ	
	耳折れ	ミミオレ	切断面	70	切断面不良	セパレータ折れ	
	耳疵	ミミキズ	線状	22	耳割れ		(素材疵)
	耳切れ	ミミキレ	線状	22	耳割れ		(素材疵)
	耳切れ	ミミキレ	切断面	68	切断面不良	耳切れ	
	耳皺	ミミシワ	折れ	57	小波		
	耳波	ミミナミ	平坦度	73	平たん度不良	耳のび	
	耳のび	ミミノビ	切断面	70	切断面不良	セパレータ折れ	
	耳のび(←耳延び、耳伸び)	ミミノビ	平坦度	73	平たん度不良	耳のび	

	俗称	読み	区分	No.	疵名(標準)		備考
					大分類	中分類	
	耳割れ	ミミワレ	線状	22	耳割れ		(素材疵)
む	虫(押込み)	ムシ(オシコミ)	点状	28	押し疵	虫押込み	
	虫(飛び込み)	ムシ(トビコミ)	点状	28	押し疵	虫押込み	
	虫圧着	ムシアッチャク	点状・肌	32	汚れ	虫汚れ	
	虫付着	ムシフチャク	点状・肌	32	汚れ	虫汚れ	
	虫汚れ	ムシヨコレ	点状・肌	32	汚れ	虫汚れ	
め	メダカ	メダカ	研磨疵	123	メダカ		(バフ研磨疵)
	面折れ	メンオレ	折れ	54	折れ	三日月折れ	
や	焼き付け	ヤキツケ	肌・模様	44	肌アレ	酸ムラ	(素材疵)
	焼け	ヤケ	研磨疵	122	研磨焼け		(バフ研磨疵)
	山形ヘゲ	ヤマガタヘゲ	線状	13	山ヘゲ		(素材疵)
	山ヘゲ	ヤマヘゲ	線状	13	山ヘゲ		(素材疵)
ゆ	雪模様	ユキモヨウ	切断面	67	切断面不良	刃欠け	
よ	横曲がり	ヨコマガリ	寸法	85	横曲がり		
	汚れ	ヨゴレ	肌・模様	38	汚れ		
	横割れ	ヨコワレ	線状	21	表面割れ	横割れ	(素材疵)
り	リール折れ	リールオレ	折れ	62	リールマーク		
	リールマーク	リールマーク	折れ	62	リールマーク		
	リジング	リジング	肌・模様	47	リビング		(素材疵)
	リビング	リビング	肌・模様	47	リビング		(素材疵)
	裏面スリ疵	リメンスリキズ	線状	3	スリ疵	(シャー裏面)スリ疵	
れ	レベラー折れ	レベラーオレ	線状	11	レベラーマーク		
	レベラー疵	レベラーキズ	線状	11	レベラーマーク		
	レベラーストップ	レベラーストップ	線状	11	レベラーマーク		
	レベラーマーク	レベラーマーク	線状	11	レベラーマーク		
	レンガ疵	レンガキズ	線状	17	レンガ疵		(素材疵)
ろ	ロール(押し)疵	ロール(オシ)キズ	点状	26	押し疵	ロール(押し)疵	
	ロール疵	ロールキズ	線状	7	ロールマーク		
	ロール疵	ロールキズ	点状	31	ロール凸疵		
	ロール縞	ロールシマ	肌・模様	39	チャタマーク		
	ロールストップ	ロールストップ	線状	9	(ロール)停止マーク		(素材疵)
	ロールストップ	ロールストップ	線状	11	レベラーマーク		
	ロールスリップ疵	ロールスリップキズ	線状	10	(ロール)スリップ疵		
	ロール停止マーク	ロールテイシマーク	線状	9	(ロール)停止マーク		(素材疵)
	ロール凸疵	ロールトツキズ	点状	31	ロール凸疵		
	ロール止め	ロールドメ	線状	9	(ロール)停止マーク		(素材疵)
	ロールハチマキ	ロールハチマキ	線状	8	ロールマーク	ロール汚れ	
	ロールマーク	ロールマーク	線状	7	ロールマーク		
	ロールマーク	ロールマーク	点状	26	押し疵	ロール(押し)疵	
	ロールマーク	ロールマーク	点状	31	ロール凸疵		
	ロール模様	ロールモヨウ	線状	8	ロールマーク	ロール汚れ	
	ロール汚れ	ロールヨゴレ	線状	8	ロールマーク	ロール汚れ	